

第1部 人口動態 (平成30年中)

1 人口の概況

(1) 人口の動き

・人口増加数は7,860人(社会増加数13,456人、自然増加数マイナス5,596人)

平成30年中の人口増加数は7,860人となっています。これを社会増加数と自然増加数とに分けてみると、社会増加数は13,456人(転入 147,977人、転出 134,397人、その他増減 124人減)、自然増加数はマイナス5,596人(出生 27,891人、死亡 33,487人)となっています。平成29年中と比べ、社会増加数は7,395人増加し、自然増加数は1,523人の減少となっています。

平成以降の人口増加数の動きをみると、平成7年に7,049人まで減少した後は増加し、13年に36,405人に達しました。その後は年々減少し、平成23年に2,218人に減少した後、24年から増加し26年に8,192人に増加しました。平成27年に再び減少に転じ、29年に1,988人と大きく減少しましたが、30年には7,860人に回復しています。

また、人口動態を男女別にみると、平成30年中の女性の人口増加数は4,944人となり、引き続き男性を上回っています。一方、男性の自然増加数はマイナス3,408人と減少が続いていますが、社会増加数が6,324人に増加したことにより、人口増加数は2,916人のプラスに転じました。

[図1-1、図1-2、表1-1、統計表第3表~第5表]

図1-1 人口の増加の推移 (昭和41年中~平成30年中)

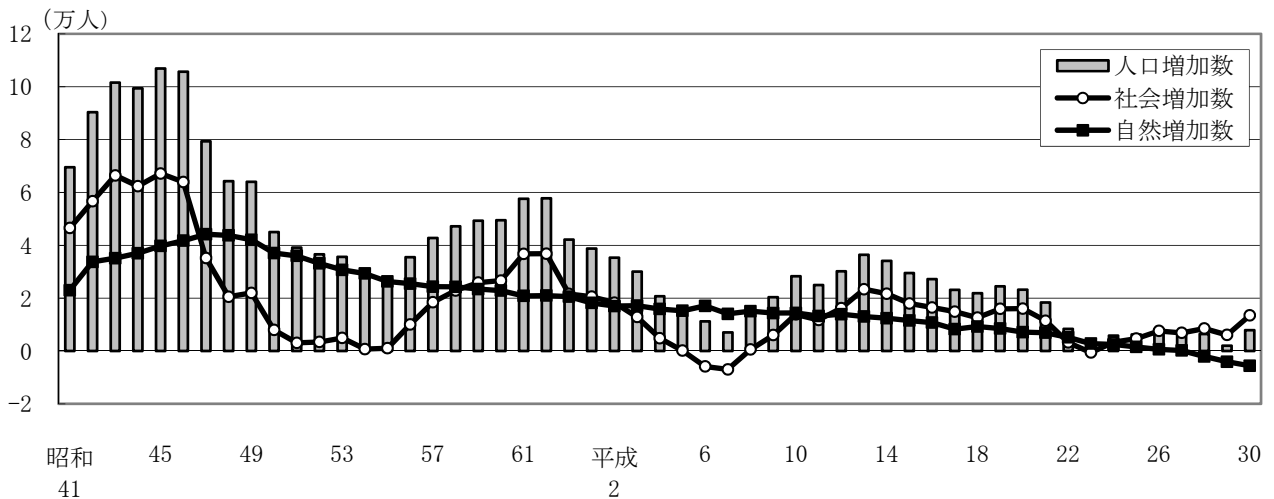


図1-2 男女別人口動態 (平成20年中~30年中)

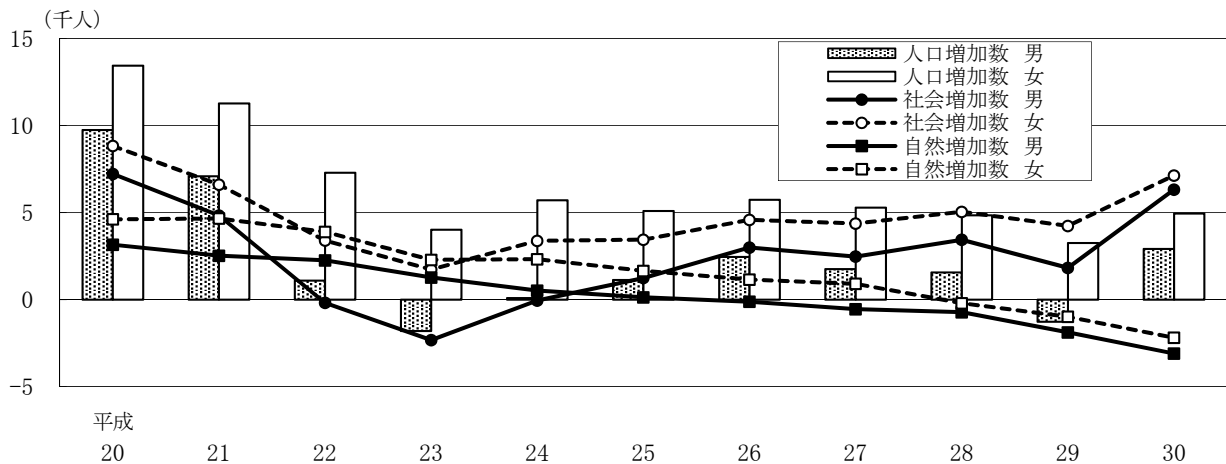


表 1-1 人口動態の推移 (昭和 22 年中～平成 30 年中)

年 中	人 口 増加数	人 口 増加率 (%)	社 会 動 態				自 然 動 態		
			社 会 増加数	転 入	転 出	そ の 他 増 減	自 然 増加数	出 生	死 亡
昭和22	56,312	7.30	39,281	97,015	57,734	-	17,031	27,529	10,498
23	44,697	5.40	26,561	117,218	90,657	-	18,136	26,058	7,922
24	45,951	5.24	26,534	107,732	81,519	321	19,417	27,116	7,699
25	47,758	5.18	30,778	106,592	75,634	△ 180	16,980	24,063	7,083
26	47,938	4.97	32,685	110,147	78,469	1,007	15,253	22,008	6,755
27	36,057	3.56	21,643	94,168	72,688	163	14,414	20,400	5,986
28	40,559	3.87	27,180	93,917	66,429	△ 308	13,379	19,922	6,543
29	31,903	2.93	18,784	91,007	72,705	482	13,119	19,537	6,418
30	26,383	2.35	13,677	82,876	68,915	△ 284	12,706	19,118	6,412
31	30,783	2.67	18,142	80,937	61,617	△ 1,178	12,641	18,717	6,076
32	40,067	3.39	27,042	89,229	61,632	△ 555	13,025	19,736	6,711
33	43,218	3.54	28,282	92,278	63,712	△ 284	14,936	21,303	6,367
34	47,480	3.75	31,386	96,726	64,955	△ 385	16,094	22,220	6,126
35	55,882	4.26	38,610	104,337	64,993	△ 734	17,272	23,272	6,000
36	66,524	4.79	47,218	117,551	69,516	△ 817	19,306	24,710	5,404
37	77,675	5.34	56,702	137,482	80,222	△ 558	20,973	26,647	5,674
38	75,704	4.94	52,624	142,348	89,469	△ 255	23,080	28,617	5,537
39	87,243	5.43	60,386	163,566	102,111	△ 1,069	26,857	32,374	5,517
40	81,221	4.79	50,777	163,100	112,605	282	30,444	37,213	6,769
41	69,546	3.85	46,534	163,137	117,746	1,143	23,012	29,197	6,185
42	90,353	4.82	56,649	176,017	120,813	1,445	33,704	40,433	6,729
43	101,545	5.16	66,421	198,484	133,246	1,183	35,124	42,433	7,309
44	99,352	4.80	62,372	206,825	145,981	1,528	36,980	44,114	7,134
45	106,907	4.93	67,152	223,393	157,019	778	39,755	47,622	7,867
46	105,690	4.67	63,941	228,455	164,481	△ 33	41,749	50,490	8,741
47	79,354	3.35	35,178	206,752	172,834	1,260	44,176	53,562	9,386
48	64,276	2.63	20,531	202,635	183,235	1,131	43,745	53,504	9,759
49	64,035	2.55	21,963	194,347	173,581	1,197	42,072	52,394	10,322
50	44,988	1.75	7,943	174,150	168,068	1,861	37,045	47,353	10,308
51	39,094	1.49	3,091	163,519	162,907	2,479	36,003	46,322	10,319
52	36,569	1.37	3,418	164,186	162,386	1,618	33,151	43,758	10,607
53	35,625	1.32	4,930	162,893	159,161	1,198	30,695	41,625	10,930
54	30,035	1.10	712	164,686	162,397	△ 1,577	29,323	40,306	10,983
55	27,337	0.99	1,043	157,616	156,070	△ 503	26,294	37,977	11,683
56	35,502	1.28	10,032	158,942	149,921	1,011	25,470	37,493	12,023
57	42,756	1.52	18,417	162,855	145,411	973	24,339	36,381	12,042
58	47,155	1.65	22,891	162,049	139,659	501	24,264	37,179	12,915
59	49,315	1.70	25,882	163,354	138,057	585	23,433	36,466	13,033
60	49,471	1.67	26,633	165,318	138,923	238	22,838	36,063	13,225
61	57,605	1.92	36,740	175,943	139,712	509	20,865	34,461	13,596
62	57,776	1.89	36,805	181,661	145,034	178	20,971	34,773	13,802
63	42,157	1.35	21,590	174,968	153,560	182	20,567	35,321	14,754
平成元	38,737	1.23	20,559	177,756	157,841	644	18,178	32,774	14,596
2	35,294	1.10	18,276	181,160	162,949	65	17,018	32,746	15,728
3	30,013	0.93	12,852	175,427	165,019	2,444	17,161	33,651	16,490
4	20,703	0.64	4,820	174,042	169,942	720	15,883	32,896	17,013
5	15,365	0.47	138	170,920	171,532	750	15,227	32,692	17,465
6	11,208	0.34	△ 5,852	167,606	173,949	491	17,060	34,617	17,557
7	7,049	0.21	△ 6,987	161,795	169,462	680	14,036	32,899	18,863
8	15,650	0.47	570	161,504	161,622	688	15,080	33,567	18,487
9	20,373	0.61	6,023	163,280	157,828	571	14,350	33,273	18,923
10	28,262	0.84	13,870	165,655	152,481	696	14,392	34,547	20,155
11	24,979	0.74	11,747	164,918	153,616	445	13,232	33,676	20,444
12	30,161	0.89	16,229	166,939	150,866	156	13,932	34,295	20,363
13	36,405	1.06	23,376	171,197	148,076	255	13,029	33,722	20,693

表 1-1 人口動態の推移（昭和 22 年中～平成 30 年中）（続）

年 中	人 口 増加数	人 口 増加率 (%)	社 会 動 態				自 然 動 態		
			社 会 増加数	転 入	転 出	その他 増 減	自 然 増加数	出 生	死 亡
平成14	34,074	0.98	21,668	168,252	147,176	592	12,406	33,699	21,293
15	29,509	0.84	17,986	167,648	150,193	531	11,523	33,271	21,748
16	27,176	0.77	16,449	163,112	147,542	879	10,727	33,238	22,511
17	23,119	0.65	14,875	160,213	146,020	682	8,244	31,722	23,478
18	21,874	0.61	12,628	158,738	146,852	742	9,246	33,023	23,777
19	24,439	0.68	15,951	161,065	145,772	658	8,488	33,122	24,634
20	23,191	0.64	16,049	158,311	143,248	986	7,142	32,694	25,552
21	18,362	0.50	11,440	153,945	143,369	864	6,922	32,816	25,894
22	8,389	0.23	3,215	145,701	143,460	974	5,174	32,747	27,573
23	2,218	0.06	△ 590	139,112	139,905	203	2,808	31,296	28,488
24	5,795	0.16	3,335	141,289	137,784	△ 170	2,460	31,623	29,163
25	6,223	0.17	4,688	140,356	132,953	△ 2,715	1,535	30,753	29,218
26	8,192	0.22	7,579	138,809	129,947	△ 1,283	613	30,780	30,167
27	7,047	0.19	6,852	144,035	135,954	△ 1,229	195	30,928	30,733
28	6,401	0.17	8,485	140,829	132,234	△ 110	△ 2,084	29,749	31,833
29	1,988	0.05	6,061	140,759	134,518	△ 180	△ 4,073	28,611	32,684
30	7,860	0.21	13,456	147,977	134,397	△ 124	△ 5,596	27,891	33,487

注 1) 人口増加数、社会動態、自然動態については各年1月1日～12月31日までの集計数値である。

注 2) 人口増加率については、各年1月1日現在の人口に対する増加数の割合である。

注 3) 平成24年中、25年中、26年中の社会動態の内訳について、国外から転入した外国人の人数を「その他増減」から「転入」に移行して修正している。

注 4) 本表では、「市内移動の増減」を「その他増減」に含めている。

(2) 行政区別の状況

・人口増加数が多い港北区、増加率が高い西区

人口の動きを行政区別にみると、平成30年中は11区で増加、7区で減少しています。

増加数では、港北区が2,711人の増加と最も多く、次いで西区(2,352人)、鶴見区(2,225人)、戸塚区(2,203人)の順となっています。

また、増加率では、西区が2.35%と最も高く、次いで戸塚区(0.80%)、港北区(0.78%)、鶴見区(0.77%)の順となっています。

減少数では、金沢区が999人の減少と最も多く、次いで保土ヶ谷区(938人)、瀬谷区(898人)の順となっています。

また、減少率では、瀬谷区が0.73と最も高く、次いで栄区(0.69%)、金沢区(0.50%)の順となっています。

【図1-3、図1-4、表1-2、統計表第5表】

図1-3 行政区別人口増加率

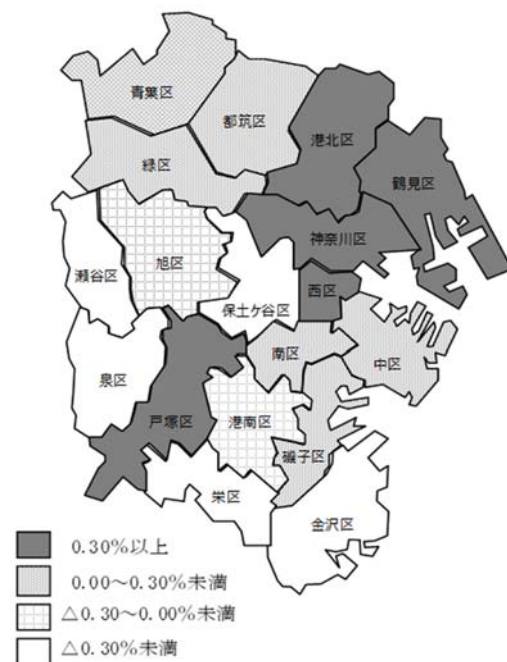


図1-4 行政区別人口動態 (平成30年中)

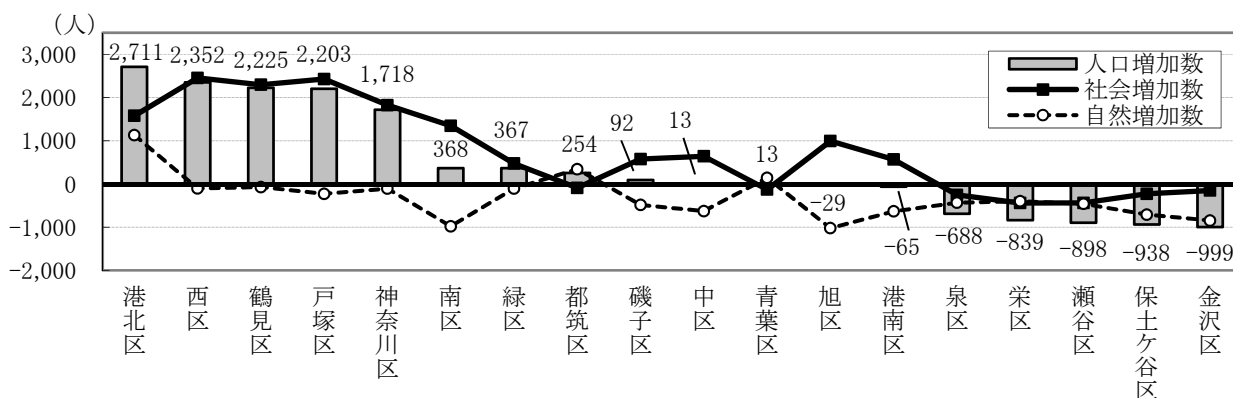


表1-2 行政区別人口及び人口増減 (平成30年中)

行政区	人口(1月1日現在)		人口増減				順位
	平成30年	平成31年	人口増加数	社会増加数	自然増加数	人口増加率(%)	
横浜市	3,733,084	3,740,944	7,860	13,456	△5,596	0.21	-
鶴見区	288,966	291,191	2,225	2,297	△72	0.77	4
神奈川区	241,606	243,324	1,718	1,826	△108	0.71	5
西区	100,048	102,400	2,352	2,456	△104	2.35	1
中区	149,155	149,168	13	641	△628	0.01	10
南区	194,974	195,342	368	1,347	△979	0.19	7
港南区	213,956	213,891	△65	568	△633	△0.03	13
保土ヶ谷区	206,515	205,577	△938	△228	△710	△0.45	15
旭区	245,756	245,727	△29	994	△1,023	△0.01	12
磯子区	166,515	166,607	92	577	△485	0.06	9
金沢区	200,033	199,034	△999	△152	△847	△0.50	16
港北区	348,737	351,448	2,711	1,578	1,133	0.78	3
緑区	181,215	181,582	367	474	△107	0.20	6
青葉区	309,880	309,893	13	△129	142	0.00	11
都筑区	211,296	211,550	254	△90	344	0.12	8
戸塚区	277,016	279,219	2,203	2,430	△227	0.80	2
栄区	120,887	120,048	△839	△440	△399	△0.69	17
泉区	152,984	152,296	△688	△254	△434	△0.45	14
瀬谷区	123,545	122,647	△898	△439	△459	△0.73	18

(3) 世帯の動き

・世帯規模は縮小し単身世帯化が進む

平成31年1月1日現在における世帯数は1,692,610世帯で、前年に比べ18,009世帯（1.08%）増加しています。平成30年中の世帯数の動きをみると、転入や世帯分離による増加が154,399世帯、転出や世帯合併による減少が136,390世帯となっています。

また、1世帯当たり人員は2.21人で、前年の2.23人より世帯の規模は縮小しています。

世帯人員別の世帯数の割合は10年前と比較して、1人世帯と2人世帯が増加し、3人以上の世帯が減少しており、単身世帯化や世帯規模の縮小化が進んでいます。

[図1-5、図1-6、表1-3、統計表第1表]

図1-5 世帯数及び1世帯当たり人員の推移（昭和41年～平成31年）

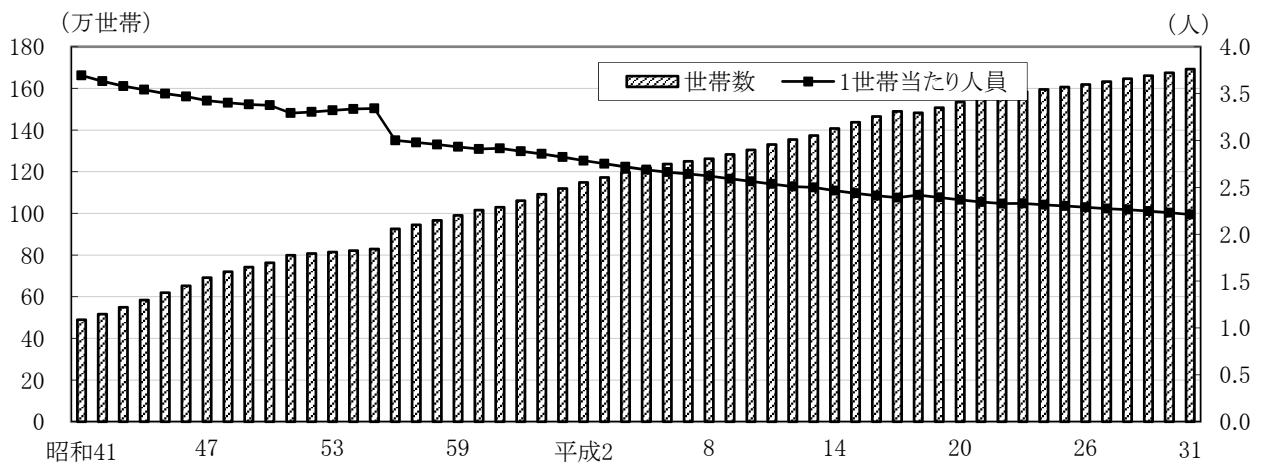
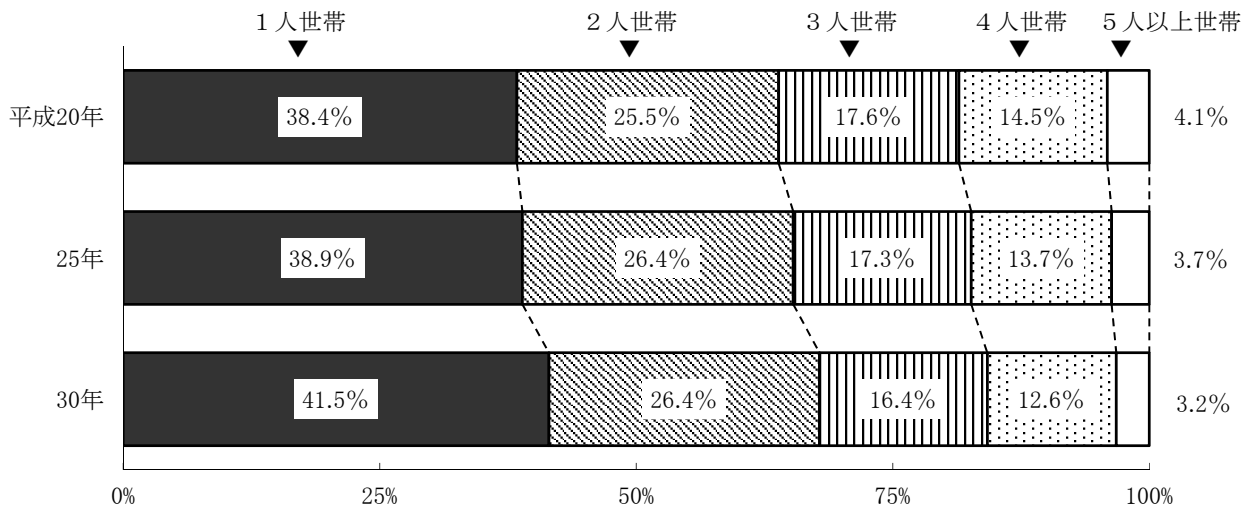


図1-6 世帯人員別世帯数の割合（平成20年、25年、30年）



注) 数値は各年9月30日現在の住民基本台帳人口を集計したものである。

・世帯数の増加数が多い港北区、増加率が高い西区

世帯数の動きを行政区別にみると、平成30年中は全ての区で増加しています。

増加数では港北区が2,142世帯と最も多く、次いで戸塚区（1,987世帯）、鶴見区（1,984世帯）、神奈川区（1,781世帯）の順になっています。

また、増加率をみると、西区（2.97%）が最も高く、次いで戸塚区（1.71%）、鶴見区（1.46%）、神奈川区（1.45%）、南区（1.33%）の順になっています。

〔図1-7、表1-3、統計表第19表〕

図1-7 行政区別世帯数増加率

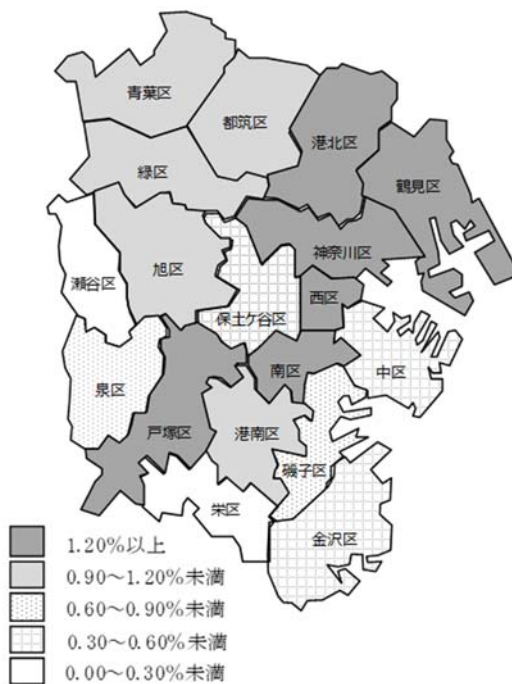


表1-3 行政区別世帯数及び世帯数の増減（平成30年中）

行政区	世帯数（1月1日現在）		平成30年中				
	平成30年	平成31年	転入等による増加	転出等による減少	増加数	増加率(%)	増加率順位
横浜市	1,674,601	1,692,610	154,399	136,390	18,009	1.08	-
鶴見区	136,090	138,074	14,797	12,813	1,984	1.46	3
神奈川区	122,426	124,207	13,631	11,850	1,781	1.45	4
西区	53,060	54,636	7,917	6,341	1,576	2.97	1
中区	79,929	80,360	10,046	9,615	431	0.54	14
南区	97,519	98,812	10,828	9,535	1,293	1.33	5
港南区	92,159	93,071	6,598	5,686	912	0.99	10
保土ヶ谷区	94,817	95,306	8,441	7,952	489	0.52	15
旭区	104,247	105,324	7,441	6,364	1,077	1.03	8
磯子区	75,869	76,427	6,558	6,000	558	0.74	12
金沢区	87,632	87,999	6,094	5,727	367	0.42	16
港北区	166,366	168,508	17,695	15,553	2,142	1.29	6
緑区	76,130	76,945	6,402	5,587	815	1.07	7
青葉区	127,123	128,328	10,774	9,569	1,205	0.95	11
都筑区	81,678	82,504	6,710	5,884	826	1.01	9
戸塚区	115,970	117,957	9,317	7,330	1,987	1.71	2
栄区	51,122	51,160	3,677	3,639	38	0.07	18
泉区	61,448	61,844	4,165	3,769	396	0.64	13
瀬谷区	51,016	51,148	3,308	3,176	132	0.26	17

2 社会動態

(1) 社会移動の状況

・転入超過数は13,580人

平成30年中の社会移動数は353,238人で、29年中に比べ8,268人の増加となっています。

市外からの転入は147,977人（前年比7,218人増）、市外への転出は134,397人（同121人減）で、差引13,580人（同7,339人増）の転入超過となっています。

移動率（各年の1月1日現在人口に対する割合）をみると、転入率は3.96%、転出率は3.60%、市内移動率1.90%で、全体の移動率は9.46%になっています。

市外転入をみると、昭和30年代後半から急激に増加し、44年に20万人を超え、45年に転入超過数が66,374人となり、46年に市外転入者数は最大の228,455人となりました。その後は小さく減少と増加を繰り返しながら、減少の方向で推移しており、平成26年には138,809人まで減少しましたが、平成30年は、前年からの増加の幅が拡大し、147,977人となっています。

市外転出は、昭和48年の183,235人をピークに減少傾向となりましたが、60年から再び増加に転じ、平成5年から8年にかけては転入を上回り、昭和22年以来初めて転出超過となりました。その後は緩やかな減少傾向にあり、平成23年以降は14万人前後で推移しています。東日本大震災のあった平成23年は一時転出超過となりましたが、24年以降は転入超過が続き、30年の転入超過数は9年ぶりに1万人超となりました。

[図1-8、表1-4、統計表第3表]

図1-8 社会動態における転入・転出・市内移動の推移（昭和41年中～平成30年中）

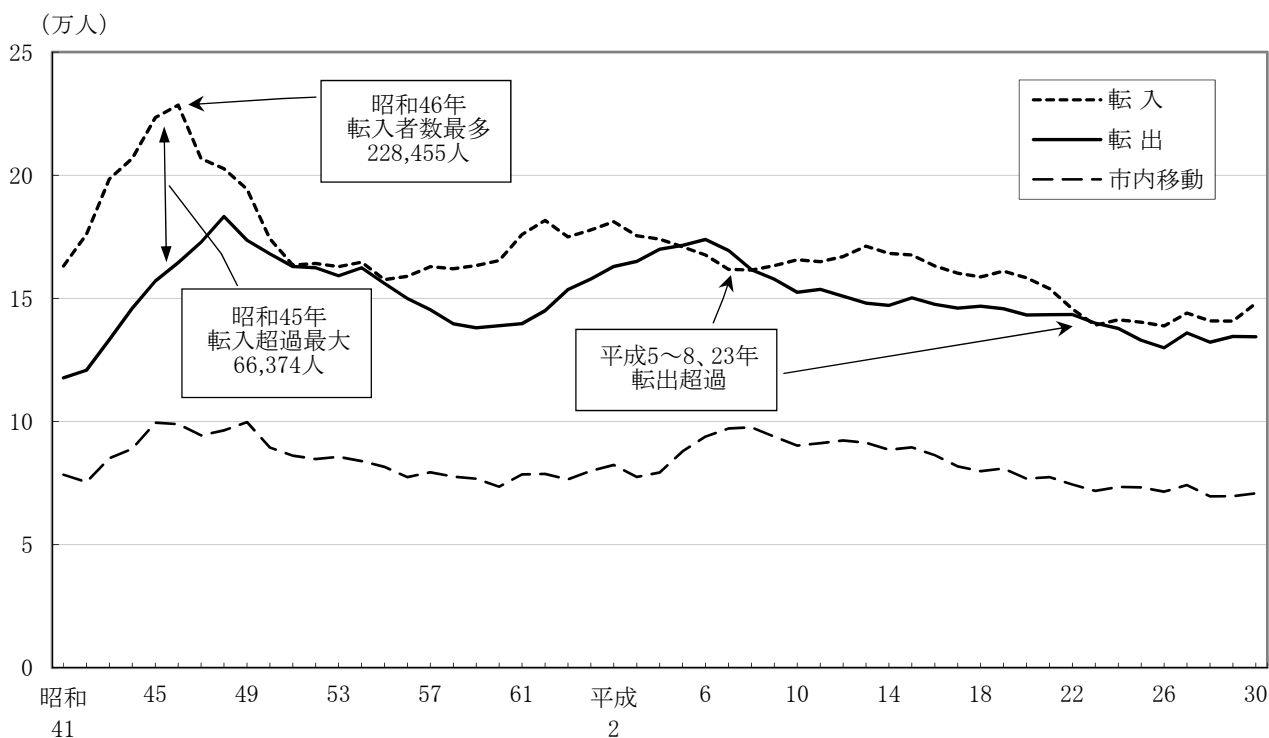


表1-4 社会移動の推移（昭和22年中～平成30年中）

年 中	社 会 移 動 数					移 動 率 (%)				
	移動総数	市 外 移 動			市内移動	移動率	市 外 移 動			市内移動率
		転入	転出	転入超過数			転入率	転出率	転入超過率	
昭和22	154,749	97,015	57,734	39,281	-	20.06	12.58	7.49	5.09	...
23	207,875	117,218	90,657	26,561	-	25.12	14.16	10.95	3.21	...
24	269,824	107,732	81,519	26,213	80,573	30.79	12.30	9.30	2.99	9.20
25	271,813	106,592	75,634	30,958	89,587	29.48	11.56	8.20	3.36	9.72
26	279,343	110,147	78,469	31,678	90,727	28.94	11.41	8.13	3.28	9.40
27	255,269	94,168	72,688	21,480	88,413	25.20	9.30	7.17	2.12	8.73
28	224,745	93,917	66,429	27,488	64,399	21.42	8.95	6.33	2.62	6.14
29	228,379	91,007	72,705	18,302	64,667	20.96	8.35	6.67	1.68	5.93
30	213,007	82,876	68,915	13,961	61,216	18.99	7.39	6.14	1.24	5.46
31	201,676	80,937	61,617	19,320	59,122	17.52	7.03	5.35	1.68	5.14
32	210,490	89,229	61,632	27,597	59,629	17.81	7.55	5.21	2.33	5.04
33	210,450	92,278	63,712	28,566	54,460	17.22	7.55	5.21	2.34	4.46
34	214,194	96,726	64,955	31,771	52,513	16.93	7.64	5.13	2.51	4.15
35	219,353	104,337	64,993	39,344	50,023	16.71	7.95	4.95	3.00	3.81
36	239,402	117,551	69,516	48,035	52,335	17.25	8.47	5.01	3.46	3.77
37	281,003	137,482	80,222	57,260	63,299	19.32	9.45	5.52	3.94	4.35
38	295,605	142,348	89,469	52,879	63,788	19.29	9.29	5.84	3.45	4.16
39	335,933	163,566	102,111	61,455	70,256	20.89	10.17	6.35	3.82	4.37
40	350,353	163,100	112,605	50,495	74,648	20.67	9.62	6.64	2.98	4.40
41	359,276	163,137	117,746	45,391	78,393	19.89	9.03	6.52	2.51	4.34
42	372,241	176,017	120,813	55,204	75,411	19.84	9.38	6.44	2.94	4.02
43	416,800	198,484	133,246	65,238	85,070	21.20	10.09	6.78	3.32	4.33
44	441,717	206,825	145,981	60,844	88,911	21.36	10.00	7.06	2.94	4.30
45	479,943	223,393	157,019	66,374	99,531	22.14	10.31	7.24	3.06	4.59
46	491,843	228,455	164,481	63,974	98,907	21.74	10.10	7.27	2.83	4.37
47	473,968	206,752	172,834	33,918	94,382	20.01	8.73	7.30	1.43	3.99
48	482,268	202,635	183,235	19,400	96,398	19.70	8.28	7.48	0.79	3.94
49	467,680	194,347	173,581	20,766	99,752	18.61	7.73	6.91	0.83	3.97
50	431,695	174,150	168,068	6,082	89,477	16.75	6.76	6.52	0.24	3.47
51	412,543	163,519	162,907	612	86,117	15.69	6.22	6.20	0.02	3.27
52	411,369	164,186	162,386	1,800	84,797	15.41	6.15	6.08	0.07	3.18
53	407,700	162,893	159,161	3,732	85,646	15.07	6.02	5.88	0.14	3.17
54	410,976	164,686	162,397	2,289	83,893	14.99	6.01	5.92	0.08	3.06
55	395,284	157,616	156,070	1,546	81,598	14.27	5.69	5.63	0.06	2.94
56	386,286	158,942	149,921	9,021	77,423	13.90	5.72	5.39	0.32	2.79
57	387,663	162,855	145,411	17,444	79,397	13.77	5.79	5.17	0.62	2.82
58	379,342	162,049	139,659	22,390	77,634	13.28	5.67	4.89	0.78	2.72
59	378,216	163,354	138,057	25,297	76,805	13.02	5.62	4.75	0.87	2.64
60	377,760	165,318	138,923	26,395	73,519	12.79	5.60	4.70	0.89	2.49
61	394,164	175,943	139,712	36,231	78,509	13.13	5.86	4.65	1.21	2.61
62	405,426	181,661	145,034	36,627	78,731	13.25	5.94	4.74	1.20	2.57
63	405,032	174,968	153,560	21,408	76,504	12.99	5.61	4.92	0.69	2.45
平成元	415,537	177,756	157,841	19,915	79,940	13.15	5.62	4.99	0.63	2.53
2	426,470	181,160	162,949	18,211	82,361	13.33	5.66	5.09	0.57	2.57
3	417,946	175,427	165,019	10,408	77,500	12.96	5.44	5.12	0.32	2.40
4	423,305	174,042	169,942	4,100	79,321	13.00	5.35	5.22	0.13	2.44
5	430,353	170,920	171,532	△ 612	87,901	13.13	5.22	5.24	△ 0.02	2.68
6	435,396	167,606	173,949	△ 6,343	93,841	13.23	5.09	5.28	△ 0.19	2.85
7	428,411	161,795	169,462	△ 7,667	97,154	12.97	4.90	5.13	△ 0.23	2.94
8	420,775	161,504	161,622	△ 118	97,649	12.72	4.88	4.88	△ 0.00	2.95

表 1-4 社会移動の推移（昭和 22 年中～平成 30 年中）（続）

年 中	社 会 移 動 数					移 動 率 (%)				
	移動総数	市 外 移 動			市内移動	移動率	市 外 移 動			市内移動率
		転入	転出	転入超過数			転入率	転出率	転入超過率	
平成 9	414,952	163,280	157,828	5,452	93,844	12.48	4.91	4.75	0.16	2.82
10	408,378	165,655	152,481	13,174	90,242	12.21	4.95	4.56	0.39	2.70
11	409,710	164,918	153,616	11,302	91,176	12.15	4.89	4.55	0.34	2.70
12	410,125	166,939	150,866	16,073	92,320	12.07	4.91	4.44	0.47	2.72
13	410,694	171,197	148,076	23,121	91,421	11.96	4.99	4.31	0.67	2.66
14	403,992	168,252	147,176	21,076	88,564	11.65	4.85	4.24	0.61	2.55
15	407,330	167,648	150,193	17,455	89,489	11.63	4.79	4.29	0.50	2.55
16	396,962	163,112	147,542	15,570	86,308	11.24	4.62	4.18	0.44	2.44
17	388,030	160,213	146,020	14,193	81,797	10.90	4.50	4.10	0.40	2.30
18	385,426	158,738	146,852	11,886	79,836	10.75	4.43	4.10	0.33	2.23
19	387,783	161,065	145,772	15,293	80,946	10.75	4.47	4.04	0.42	2.24
20	378,353	158,311	143,248	15,063	76,794	10.42	4.36	3.94	0.41	2.11
21	374,733	153,945	143,369	10,576	77,419	10.25	4.21	3.92	0.29	2.12
22	363,577	145,701	143,460	2,241	74,416	9.90	3.97	3.91	0.06	2.03
23	350,867	139,112	139,905	△ 793	71,850	9.51	3.77	3.79	△ 0.02	1.95
24	352,552	141,289	137,784	3,505	73,479	9.55	3.83	3.73	0.09	1.99
25	346,578	140,356	132,953	7,403	73,269	9.37	3.80	3.60	0.20	1.98
26	340,292	138,809	129,947	8,862	71,536	9.19	3.75	3.51	0.24	1.93
27	354,131	144,035	135,954	8,081	74,142	9.54	3.88	3.66	0.22	2.00
28	342,680	140,829	132,234	8,595	69,617	9.20	3.78	3.55	0.23	1.87
29	344,970	140,759	134,518	6,241	69,693	9.25	3.77	3.61	0.17	1.87
30	353,238	147,977	134,397	13,580	70,864	9.46	3.96	3.60	0.36	1.90

注 1) 市内移動は転入の人数である。また、移動率の算出に用いた人口は各年 1 月 1 日現在人口である。

注 2) 平成 24 年中、25 年中、26 年中の社会移動数の内訳について、国外から転入した外国人の人数を「市外移動の転入」に移行して修正している。

(2) 市外移動

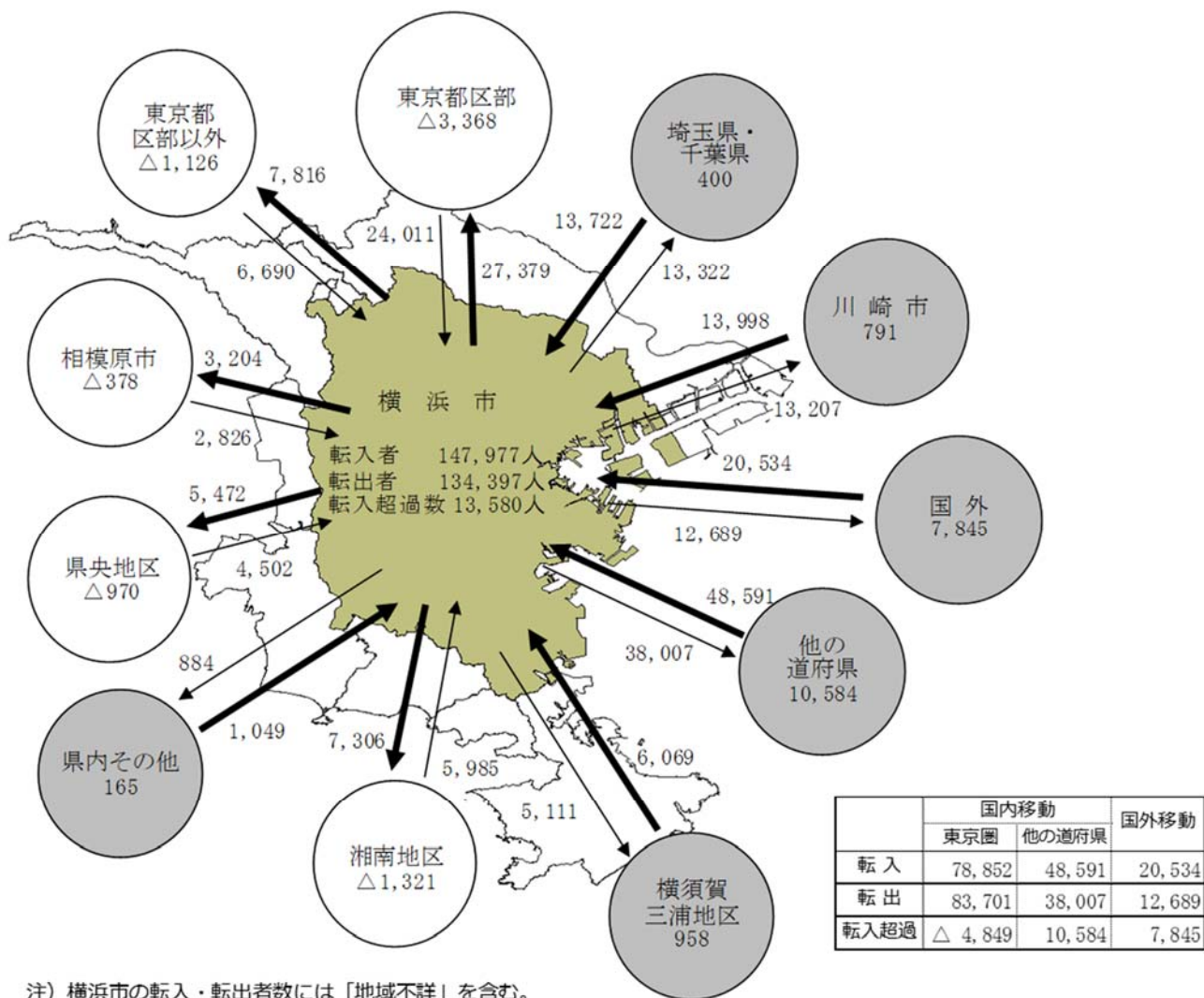
・東京都区部への転出超過が目立つ

市外移動を移動前・移動後の住所地別にみると、都道府県別の転入は、神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県の順で、転出は東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の順で多くなっており、これら東京圏内だけで転入者の53.3% (78,852人)、転出者の62.3% (83,701人) を占めています。

横浜市の転入超過数 (13,580人) を地域別にみると、東京圏内では、横須賀三浦地区 (958人) が前年に引き続き転入超過となり、川崎市 (791人)、埼玉・千葉県 (400人) は転入超過に転じています。その他の地域では、東京都区部 (転入超過数マイナス3,368人)、東京都区部以外 (同マイナス1,126人)、湘南地区 (同マイナス1,321人)、県央地区 (同マイナス970人) などが、転出超過となっています。この結果、東京圏内全体での転出超過は前年より減少し、4,849人となっています。一方、東京圏以外の道府県は10,584人の転入超過、国外は7,845人の転入超過となっています。

[図1-9、図1-10、表1-5、統計表第14表、第15表]

図1-9 地域別にみた転入・転出者数 (平成30年中)



東京都と神奈川県の細区分

- 東京都区部 : 23 特別区
- 東京都区部以外 : 23 特別区を除く都内の市町村
- 川崎市 : 川崎市 (川崎区、幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区)
- 相模原市 : 相模原市 (緑区、中央区、南区)
- 横須賀三浦地区 : 横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、三浦郡 (葉山町)
- 県央地区 : 厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛甲郡 (愛川町、清川村)
- 湘南地区 : 平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、高座郡 (寒川町) 中郡 (大磯町、二宮町)
- 県内その他 : 小田原市、南足柄市、足柄上郡 (中井町、大井町、松田町、山北町、開成町)、足柄下郡 (箱根町、真鶴町、湯河原町)

図1-10 東京圏内各地域の転入・転出超過数の推移（平成26年中～30年中）

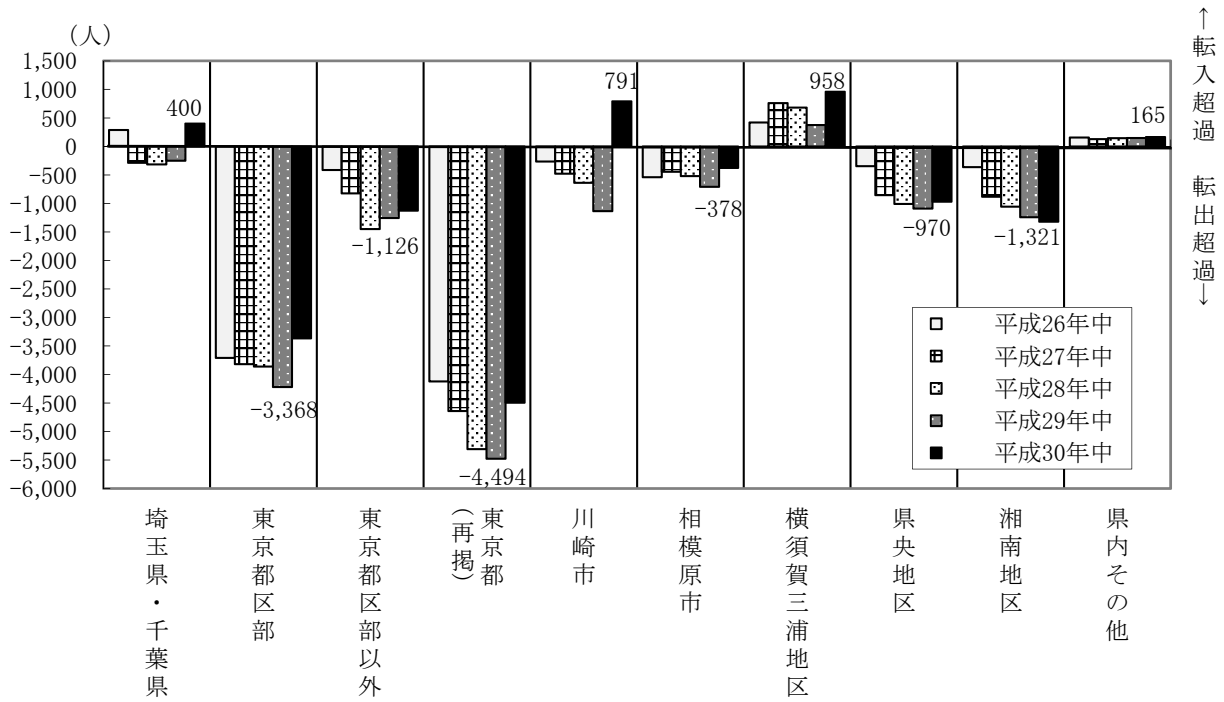


表1-5 移動前・移動後の住所地別転入・転出者数の順位（平成30年中）

都道府県		県内・東京都区部	
【転入】	【転入超過】	【転入】	【転入超過】
1 神奈川県 34,429	1 愛知県 994	1 川崎市 13,998	1 横須賀市 1,079
2 東京都 30,701	2 兵庫県 649	2 大田区 4,362	2 川崎市 791
3 千葉県 7,230	3 福岡県 634	3 横須賀市 3,644	3 大田区 307
4 埼玉県 6,492	4 静岡県 616	4 世田谷区 2,910	4 厚木市 87
5 愛知県 4,400	5 新潟県 574	5 藤沢市 2,853	5 三浦市 81
6 大阪府 4,263	6 大阪府 570	6 相模原市 2,826	6 小田原市 67
7 静岡県 3,693	7 宮城県 500	7 大和市 1,932	7 足柄上郡 61
8 福岡県 2,795	8 福島県 405	8 品川区 1,805	8 秦野市 40
9 兵庫県 2,766	9 茨城県 397	9 町田市 1,578	9 練馬区 36
10 北海道 2,702	10 青森県 355	10 鎌倉市 1,452	10 南足柄市 31
(再掲) 東京圏 78,852			10 愛甲郡 31

都道府県		県内・東京都区部	
【転出】	【転出超過】	【転出】	【転出超過】
1 東京都 35,195	1 東京都 4,494	1 川崎市 13,207	1 町田市 837
2 神奈川県 35,184	2 神奈川県 755	2 大田区 4,055	2 藤沢市 803
3 千葉県 6,990	3 沖縄県 41	3 藤沢市 3,656	3 大和市 525
4 埼玉県 6,332		4 世田谷区 3,285	4 品川区 405
5 大阪府 3,693		5 相模原市 3,204	5 茅ヶ崎市 404
6 愛知県 3,406		6 横須賀市 2,565	6 相模原市 378
7 静岡県 3,077		7 大和市 2,457	7 世田谷区 375
8 北海道 2,440		8 町田市 2,415	8 江東区 312
9 福岡県 2,161		9 品川区 2,210	9 中央区 296
10 兵庫県 2,117		10 鎌倉市 1,637	10 渋谷区 251
(再掲) 東京圏 83,701			

注) 神奈川県には、横浜市内の移動は含まない。

(3) 市内移動

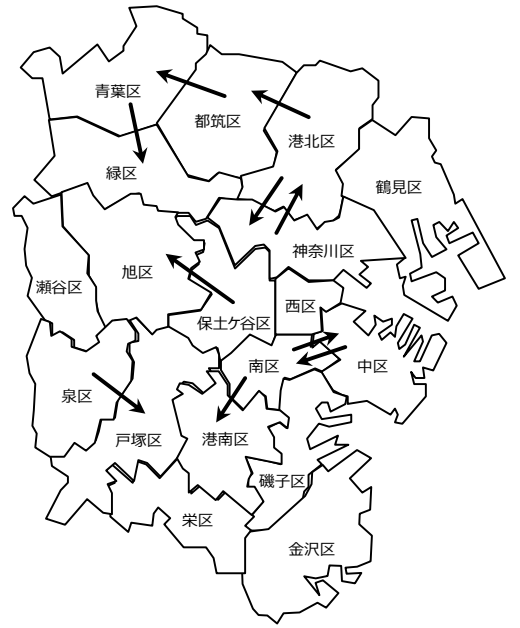
・隣接区への移動が 55.6%

市内移動（区間移動）の70,864人を移動前・移動後の住所地別にみると、隣接区への移動が39,387人と全体の半数以上を占めています。行政区別に移動数をみると、図1-11の区間において移動数が多くなっています。

また、市内移動（区間移動）による転入超過数をみると、戸塚区（1,328人）、旭区（988人）及び緑区（623人）で多くなっており、特に、図1-12の区間において差が大きくなっています。

【図1-11、図1-12、
表1-6、統計表第15表】

図1-11 区間移動数（平成30年中）



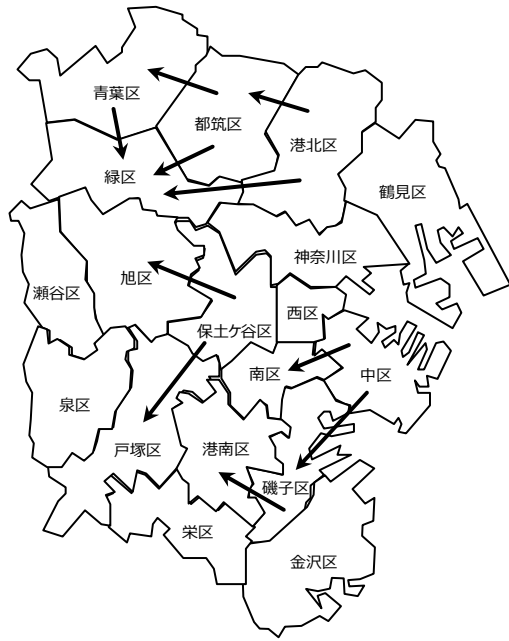
転入者数(上位10区)		
【転出側】	【転入側】	
中区	⇒ 南区	1,306
港北区	⇒ 神奈川区	1,214
神奈川区	⇒ 港北区	1,133
港北区	⇒ 都筑区	1,005
南区	⇒ 中区	995
保土ヶ谷区	⇒ 旭区	931
都筑区	⇒ 青葉区	864
青葉区	⇒ 緑区	835
泉区	⇒ 戸塚区	833
南区	⇒ 港南区	791

表1-6 移動前・移動後の住所地別市内（区間）移動者数・転入超過数（平成30年中）

移動前の住所地	総数	移動後の住所地								
		鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区	
総数	70,864	3,615	5,733	3,948	4,192	5,554	4,536	4,456	5,009	
鶴見区	3,954	-	656	186	282	274	175	228	216	
神奈川区	6,107	684	-	575	397	336	227	614	379	
西区	3,467	132	467	-	517	457	91	582	220	
中区	5,102	277	414	647	-	1,306	307	197	139	
南区	5,716	272	374	437	995	-	791	430	182	
港南区	4,211	158	209	179	209	692	-	166	159	
保土ヶ谷区	4,978	193	541	584	215	406	189	-	931	
旭区	4,021	154	256	225	138	157	150	629	-	
磯子区	3,762	146	221	156	433	476	735	130	127	
金沢区	2,698	117	161	128	153	308	397	110	110	
港北区	6,472	786	1,214	261	234	230	225	301	361	
緑区	3,155	122	338	61	65	74	85	142	443	
青葉区	3,002	85	171	75	92	96	68	104	155	
都筑区	3,643	141	264	61	83	75	83	87	222	
戸塚区	3,924	131	210	168	152	292	446	388	231	
栄区	2,129	84	81	46	102	174	370	82	98	
泉区	2,537	70	87	70	61	121	129	133	386	
瀬谷区	1,986	63	69	89	64	80	68	133	650	
移動後の住所地	総数	移動前の住所地								
		鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区	
鶴見区	339	-	△ 28	54	5	2	17	35	62	
神奈川区	374	28	-	108	△ 17	△ 38	18	73	123	
西区	△ 481	△ 54	△ 108	-	△ 130	△ 20	△ 88	△ 2	△ 5	
中区	910	△ 5	17	130	-	311	98	△ 18	1	
南区	162	△ 2	38	△ 20	△ 311	-	99	24	25	
港南区	△ 325	△ 17	△ 18	88	△ 98	△ 99	-	△ 23	9	
保土ヶ谷区	522	△ 35	△ 73	2	18	△ 24	23	-	302	
旭区	△ 988	△ 62	△ 123	5	△ 1	△ 25	△ 9	△ 302	-	
磯子区	△ 18	△ 31	22	33	△ 187	△ 161	166	2	41	
金沢区	361	△ 30	33	45	△ 10	82	103	5	2	
港北区	941	85	81	28	△ 20	△ 38	30	27	128	
緑区	△ 623	△ 22	△ 34	△ 7	△ 39	△ 29	19	△ 29	101	
青葉区	△ 2	△ 43	13	30	4	14	△ 10	13	△ 7	
都筑区	215	△ 7	△ 11	△ 7	△ 28	△ 32	11	△ 34	120	
戸塚区	△ 1,328	△ 146	△ 87	△ 5	△ 58	△ 119	△ 146	△ 218	△ 22	
栄区	153	14	△ 1	2	△ 26	26	29	△ 11	32	
泉区	△ 152	8	△ 42	△ 22	△ 21	△ 46	△ 37	△ 35	46	
瀬谷区	△ 60	△ 20	△ 53	17	9	△ 6	2	△ 29	30	

注) 各区間の移動者数は、移動後の住所地からみた転入者数である。

図 1-12 区間移動の転入超過数 (平成 30 年中)



【転出側】	⇒	【転入側】	数
中区	⇒	南区	311
保土ヶ谷区	⇒	旭区	302
港北区	⇒	都筑区	238
都筑区	⇒	緑区	220
保土ヶ谷区	⇒	戸塚区	218
青葉区	⇒	緑区	212
都筑区	⇒	青葉区	189
中区	⇒	磯子区	187
港北区	⇒	緑区	183
磯子区	⇒	港南区	166

表 1-6

移動後の住所地										移動前の住所地
磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区	総数
3,780	2,337	5,531	3,778	3,004	3,428	5,252	1,976	2,689	2,046	鶴見区
177	147	701	144	128	148	277	70	62	83	神奈川区
199	128	1,133	372	158	275	297	82	129	122	西区
123	83	233	68	45	68	173	44	92	72	中区
620	163	254	104	88	111	210	128	82	55	南区
637	226	268	103	82	107	411	148	167	86	港南区
569	294	195	66	78	72	592	341	166	66	保土ヶ谷区
128	105	274	171	91	121	606	93	168	162	旭区
86	108	233	342	162	102	253	66	340	620	磯子区
-	485	143	78	48	74	176	210	72	52	金沢区
491	-	159	61	46	69	163	136	62	27	港北区
150	133	-	547	405	1,005	344	74	109	93	緑区
72	49	364	-	623	403	89	43	60	122	青葉区
47	44	313	835	-	675	99	26	54	63	都筑区
65	61	767	623	864	-	102	23	65	57	戸塚区
149	106	215	73	84	79	-	392	708	100	栄区
168	114	83	45	24	31	476	-	99	52	泉区
65	53	99	47	43	45	833	81	-	214	瀬谷区
34	38	97	99	35	43	151	19	254	-	

移動前の住所地										移動後の住所地
磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区	総数
31	30	△ 85	22	43	7	146	△ 14	△ 8	20	鶴見区
△ 22	△ 33	△ 81	34	△ 13	11	87	1	42	53	神奈川区
△ 33	△ 45	△ 28	7	△ 30	7	5	△ 2	22	△ 17	西区
187	10	20	39	△ 4	28	58	26	21	△ 9	中区
161	△ 82	38	29	△ 14	32	119	△ 26	46	6	南区
△ 166	△ 103	△ 30	△ 19	10	△ 11	146	△ 29	37	△ 2	港南区
△ 2	△ 5	△ 27	29	△ 13	34	218	11	35	29	保土ヶ谷区
△ 41	△ 2	△ 128	△ 101	7	△ 120	22	△ 32	△ 46	△ 30	旭区
-	△ 6	△ 7	6	1	9	27	42	7	18	磯子区
6	-	26	12	2	8	57	22	9	△ 11	金沢区
7	△ 26	-	183	92	238	129	△ 9	10	△ 4	港北区
△ 6	△ 12	△ 183	-	△ 212	△ 220	16	△ 2	13	23	緑区
△ 1	△ 2	△ 92	212	-	△ 189	15	2	11	28	青葉区
△ 9	△ 8	△ 238	220	189	-	23	△ 8	20	14	都筑区
△ 27	△ 57	△ 129	△ 16	△ 15	△ 23	-	△ 84	△ 125	△ 51	戸塚区
△ 42	△ 22	9	2	△ 2	8	84	-	18	33	栄区
△ 7	△ 9	△ 10	△ 13	△ 11	△ 20	125	△ 18	-	△ 40	泉区
△ 18	11	4	△ 23	△ 28	△ 14	51	△ 33	40	-	瀬谷区

(4) 年齢別、男女別社会移動

・移動が多い20～30歳代

社会移動数を年齢別にみると、市外からの転入では25～29歳が31,002人（転入者の21.0%）と最も多く、次いで20～24歳が27,041人（同18.3%）、30～34歳が21,948人（同14.8%）、35～39歳が13,957人（同9.4%）となっており、20～30歳代で全体の約6割を占めています。

また、市外への転出及び市内移動についてもほぼ同じ傾向で、20～30歳代の社会移動が多くなっています。

平成20年中、25年中及び30年中の年齢別転入超過数をみると、各年ともに20～24歳が最も高く、以降60～64歳まで減少傾向となっています。平成30年中では、55～59歳、60～64歳、及び65歳以上を除く他のすべての年齢区分で転入超過となっています。

男女別では、市外移動、市内移動ともに男性の移動割合が高くなっています。

[表1-7、図1-13、図1-14、図1-15]

表1-7 年齢、男女別社会移動数（平成30年中）

男女、年齢		社会移動数					割合(%)			
		総移動数	市外移動			市内移動	総移動数	市外移動		市内移動
			転入	転出	転入超過数			転入	転出	
総 数	総数	353,238	147,977	134,397	13,580	70,864	100.0	100.0	100.0	100.0
	0～14歳	35,332	13,862	13,821	41	7,649	10.0	9.4	10.3	10.8
	15～19歳	10,786	5,750	2,889	2,861	2,147	3.1	3.9	2.1	3.0
	20～24歳	53,817	27,041	19,338	7,703	7,438	15.2	18.3	14.4	10.5
	25～29歳	72,330	31,002	28,628	2,374	12,700	20.5	21.0	21.3	17.9
	30～34歳	53,766	21,948	20,808	1,140	11,010	15.2	14.8	15.5	15.5
	35～39歳	34,529	13,957	13,388	569	7,184	9.8	9.4	10.0	10.1
	40～44歳	23,667	9,419	9,301	118	4,947	6.7	6.4	6.9	7.0
	45～49歳	18,335	7,208	7,115	93	4,012	5.2	4.9	5.3	5.7
	50～54歳	13,444	5,235	5,167	68	3,042	3.8	3.5	3.8	4.3
	55～59歳	9,622	3,461	3,885	△ 424	2,276	2.7	2.3	2.9	3.2
	60～64歳	6,813	2,263	2,859	△ 596	1,691	1.9	1.5	2.1	2.4
	65歳以上	20,797	6,831	7,198	△ 367	6,768	5.9	4.6	5.4	9.6
男	総数	188,469	79,534	72,724	6,810	36,211	53.4	53.7	54.1	51.1
	0～14歳	17,976	7,003	7,068	△ 65	3,905	5.1	4.7	5.3	5.5
	15～19歳	5,844	3,171	1,573	1,598	1,100	1.7	2.1	1.2	1.6
	20～24歳	28,406	14,235	10,601	3,634	3,570	8.0	9.6	7.9	5.0
	25～29歳	38,025	16,751	15,044	1,707	6,230	10.8	11.3	11.2	8.8
	30～34歳	28,445	11,701	11,009	692	5,735	8.1	7.9	8.2	8.1
	35～39歳	19,107	7,676	7,468	208	3,963	5.4	5.2	5.6	5.6
	40～44歳	13,428	5,332	5,312	20	2,784	3.8	3.6	4.0	3.9
	45～49歳	10,602	4,197	4,244	△ 47	2,161	3.0	2.8	3.2	3.0
	50～54歳	7,905	3,152	3,136	16	1,617	2.2	2.1	2.3	2.3
	55～59歳	5,665	2,138	2,280	△ 142	1,247	1.6	1.4	1.7	1.8
	60～64歳	4,051	1,368	1,731	△ 363	952	1.1	0.9	1.3	1.3
	65歳以上	9,015	2,810	3,258	△ 448	2,947	2.6	1.9	2.4	4.2
女	総数	164,769	68,443	61,673	6,770	34,653	46.6	46.3	45.9	48.9
	0～14歳	17,356	6,859	6,753	106	3,744	4.9	4.6	5.0	5.3
	15～19歳	4,942	2,579	1,316	1,263	1,047	1.4	1.7	1.0	1.5
	20～24歳	25,411	12,806	8,737	4,069	3,868	7.2	8.7	6.5	5.5
	25～29歳	34,305	14,251	13,584	667	6,470	9.7	9.6	10.1	9.1
	30～34歳	25,321	10,247	9,799	448	5,275	7.2	6.9	7.3	7.4
	35～39歳	15,422	6,281	5,920	361	3,221	4.4	4.2	4.4	4.5
	40～44歳	10,239	4,087	3,989	98	2,163	2.9	2.8	3.0	3.1
	45～49歳	7,733	3,011	2,871	140	1,851	2.2	2.0	2.1	2.6
	50～54歳	5,539	2,083	2,031	52	1,425	1.6	1.4	1.5	2.0
	55～59歳	3,957	1,323	1,605	△ 282	1,029	1.1	0.9	1.2	1.5
	60～64歳	2,762	895	1,128	△ 233	739	0.8	0.6	0.8	1.0
	65歳以上	11,782	4,021	3,940	81	3,821	3.3	2.7	2.9	5.4

図1-13 年齢別社会移動数（平成30年中）

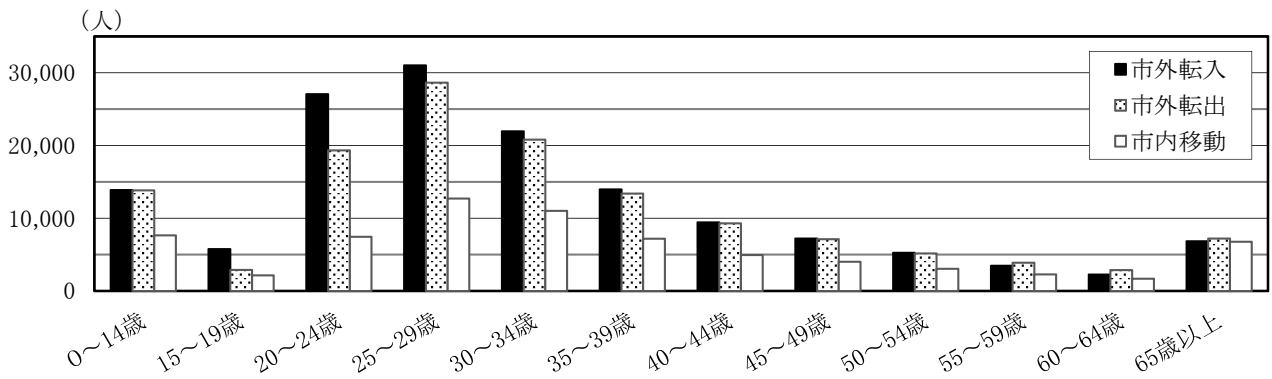


図1-14 年齢別転入超過数（平成20年中、25年中、30年中）

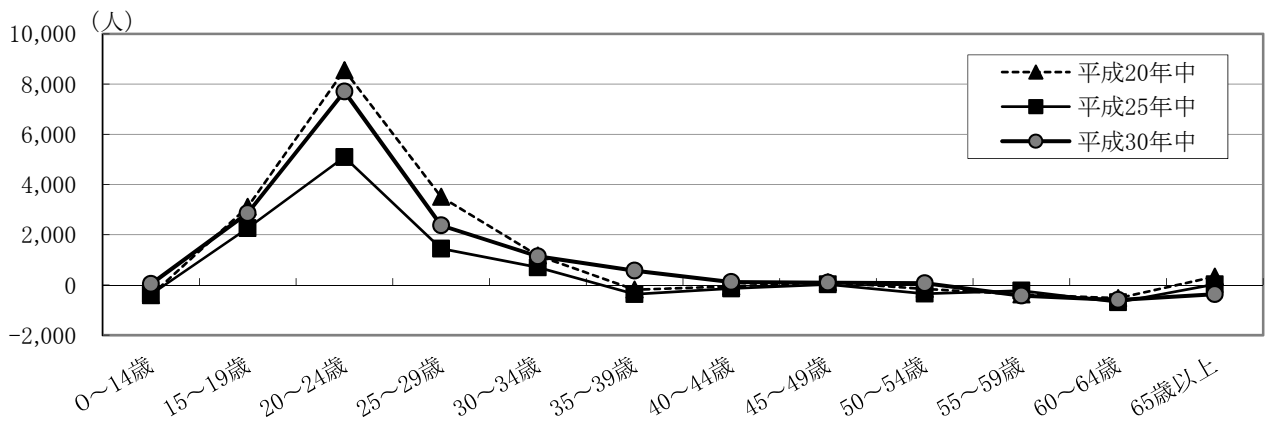
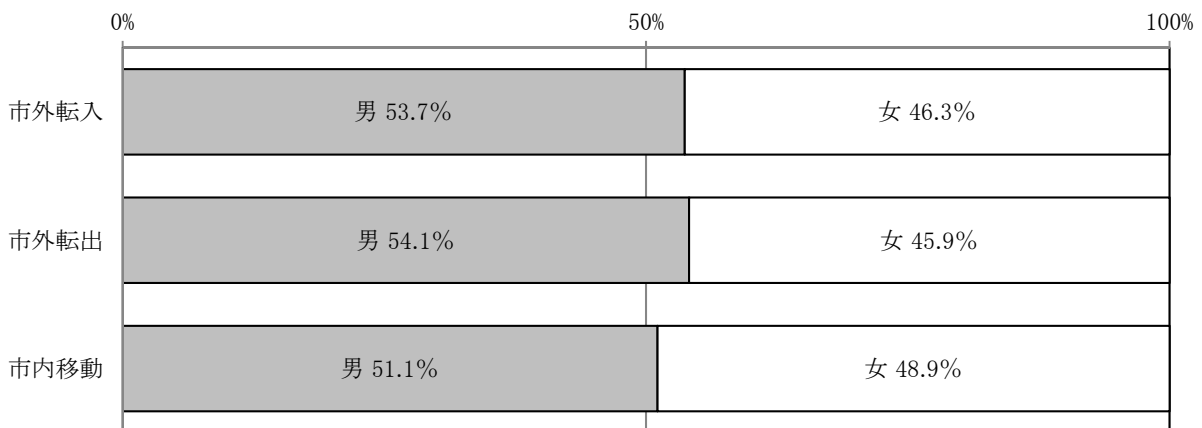


図1-15 社会移動数の男女別割合（平成30年中）



3 自然動態

・自然増加数のマイナスが拡大

自然動態をみると、出生は27,891人（前年比720人減）、死亡は33,487人（同803人増）で、自然増加数はマイナス5,596人（同1,523人減）となっており、自然増加数のマイナス傾向が継続しています。

自然動態の推移を人口1,000人当たりの比率で見ると、出生率は終戦直後の第1次ベビーブーム後の急激な低下から昭和30年代後半になると上昇に転じ、第2次ベビーブームの昭和47年には22.62まで上昇しました。その後の出生率は緩やかな低下傾向にあり、平成13年以降は1桁となり、30年は7.48に低下しています。

一方、死亡率は昭和50年代から緩やかな上昇傾向にあり、平成30年は前年の8.76より0.22ポイント高い8.98となっています。

平成28年から死亡率が出生率を上回り、30年の自然増加率はマイナス1.50で、昭和22年以降で最低となっています。

〔図1-16、表1-8、統計表第3表〕

図1-16 出生率、死亡率、自然増加率の推移（昭和38年中～平成30年中）

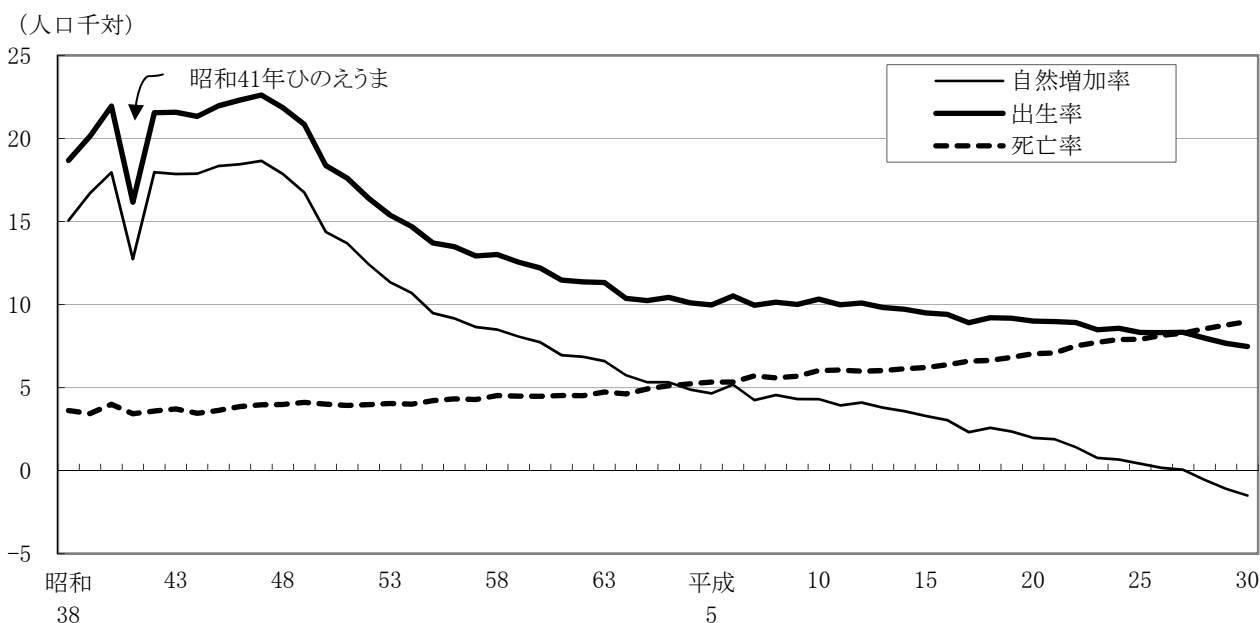


表1-8 自然動態の推移（昭和22年中～平成30年中）

年 中	自 然 動 態			比 率 (人口千対)		
	自然増加数	出 生	死 亡	自然増加率	出 生 率	死 亡 率
昭和22	17,031	27,529	10,498	22.08	35.69	13.61
23	18,136	26,058	7,922	21.91	31.49	9.57
24	19,417	27,116	7,699	22.16	30.95	8.79
25	16,980	24,063	7,083	18.41	26.09	7.68
26	15,253	22,008	6,755	15.80	22.80	7.00
27	14,414	20,400	5,986	14.23	20.14	5.91
28	13,379	19,922	6,543	12.75	18.99	6.24
29	13,119	19,537	6,418	12.04	17.93	5.89
30	12,706	19,118	6,412	11.33	17.05	5.72
31	12,641	18,717	6,076	10.98	16.26	5.28
32	13,025	19,736	6,711	11.02	16.70	5.68
33	14,936	21,303	6,367	12.22	17.43	5.21
34	16,094	22,220	6,126	12.72	17.56	4.84
35	17,272	23,272	6,000	13.16	17.73	4.57
36	19,306	24,710	5,404	13.91	17.80	3.89

表1-8 自然動態の推移（昭和22年中～平成30年中）（続）

年 中	自 然 動 態			比 率（人口千対）		
	自然増加数	出 生	死 亡	自然増加率	出 生 率	死 亡 率
昭和37	20,973	26,647	5,674	14.42	18.32	3.90
38	23,080	28,617	5,537	15.06	18.68	3.61
39	26,857	32,374	5,517	16.70	20.13	3.43
40	30,444	37,213	6,769	17.96	21.95	3.99
41	23,012	29,197	6,185	12.74	16.16	3.42
42	33,704	40,433	6,729	17.96	21.55	3.59
43	35,124	42,433	7,309	17.86	21.58	3.72
44	36,980	44,114	7,134	17.88	21.33	3.45
45	39,755	47,622	7,867	18.34	21.97	3.63
46	41,749	50,490	8,741	18.45	22.31	3.86
47	44,176	53,562	9,386	18.65	22.62	3.96
48	43,745	53,504	9,759	17.87	21.85	3.99
49	42,072	52,394	10,322	16.74	20.85	4.11
50	37,045	47,353	10,308	14.38	18.38	4.00
51	36,003	46,322	10,319	13.69	17.62	3.92
52	33,151	43,758	10,607	12.42	16.40	3.97
53	30,695	41,625	10,930	11.35	15.39	4.04
54	29,323	40,306	10,983	10.70	14.71	4.01
55	26,294	37,977	11,683	9.49	13.71	4.22
56	25,470	37,493	12,023	9.16	13.49	4.33
57	24,339	36,381	12,042	8.65	12.93	4.28
58	24,264	37,179	12,915	8.49	13.01	4.52
59	23,433	36,466	13,033	8.07	12.56	4.49
60	22,838	36,063	13,225	7.73	12.21	4.48
61	20,865	34,461	13,596	6.95	11.48	4.53
62	20,971	34,773	13,802	6.85	11.36	4.51
63	20,567	35,321	14,754	6.60	11.33	4.73
平成元	18,178	32,774	14,596	5.75	10.37	4.62
2	17,018	32,746	15,728	5.32	10.24	4.92
3	17,161	33,651	16,490	5.32	10.43	5.11
4	15,883	32,896	17,013	4.88	10.10	5.23
5	15,227	32,692	17,465	4.65	9.98	5.33
6	17,060	34,617	17,557	5.18	10.52	5.33
7	14,036	32,899	18,863	4.25	9.96	5.71
8	15,080	33,567	18,487	4.56	10.14	5.59
9	14,350	33,273	18,923	4.32	10.01	5.69
10	14,392	34,547	20,155	4.30	10.33	6.03
11	13,232	33,676	20,444	3.92	9.98	6.06
12	13,932	34,295	20,363	4.10	10.09	5.99
13	13,029	33,722	20,693	3.80	9.82	6.03
14	12,406	33,699	21,293	3.58	9.71	6.14
15	11,523	33,271	21,748	3.29	9.50	6.21
16	10,727	33,238	22,511	3.04	9.41	6.37
17	8,244	31,722	23,478	2.32	8.91	6.60
18	9,246	33,023	23,777	2.58	9.21	6.63
19	8,488	33,122	24,634	2.35	9.18	6.83
20	7,142	32,694	25,552	1.97	9.00	7.04
21	6,922	32,816	25,894	1.89	8.98	7.09
22	5,174	32,747	27,573	1.41	8.92	7.51
23	2,808	31,296	28,488	0.76	8.48	7.72
24	2,460	31,623	29,163	0.67	8.57	7.90
25	1,535	30,753	29,218	0.42	8.32	7.90
26	613	30,780	30,167	0.17	8.31	8.15
27	195	30,928	30,733	0.05	8.33	8.28
28	△ 2,084	29,749	31,833	△ 0.56	7.99	8.55
29	△ 4,073	28,611	32,684	△ 1.09	7.67	8.76
30	△ 5,596	27,891	33,487	△ 1.50	7.48	8.98

注) 比率に用いた人口については、各年1月1日現在人口である。

4 行政区の人口動態

・社会増加率の伸びが突出した西区

平成30年中の各区の人口動態を社会動態と自然動態に区分してみると、社会増加数がプラスとなったのは西区（2,456人）、戸塚区（2,430人）、鶴見区（2,297人）など11区となっています。

また、自然増加数がプラスとなったのは港北区（1,133人）、都筑区（344人）、青葉区（142人）の3区となっています。

社会増加率及び自然増加率^(注)で見ると、社会増加率は西区が最も高く、自然増加率は港北区が最も高くなっています。

次に、市外転入・転出者数を移動前・移動後の住所地別にみると、東京圏内の地域では東京都区部が多くなっています。さらに、東京圏内の地域との移動を行政区別にみると、川崎市との移動では鶴見区、港北区、青葉区、横須賀三浦地区との移動では金沢区、県央地区との移動では瀬谷区、旭区、湘南地区との移動では戸塚区が多くなっています。

東京圏外との移動割合は市全体で3割程度、国外の移動割合は、市全体で1割程度となっています。

[図1-17、表1-9、表1-10、統計表第5表、第14表、第15表]

(注) 社会増加率 = 社会増加数 ÷ 平成30年1月1日現在総人口 × 100

自然増加率 = 自然増加数 ÷ 平成30年1月1日現在総人口 × 100

表1-9 行政区別の人口動態（平成30年中）

行政区	人口増加数	社会動態						自然動態		
		社会増加数	市外移動		市内（区間）移動		その他増減	自然増加数	出生	死亡
			転入	転出	転入	転出				
横浜市	7,860	13,456	147,977	134,397	70,864	70,824	△ 164	△ 5,596	27,891	33,487
鶴見区	2,225	2,297	15,762	13,040	3,615	3,952	△ 88	△ 72	2,473	2,545
神奈川区	1,718	1,826	12,036	9,861	5,733	6,106	24	△ 108	1,980	2,088
西区	2,352	2,456	6,662	4,522	3,948	3,464	△ 168	△ 104	795	899
中区	13	641	8,886	6,886	4,192	5,095	△ 456	△ 628	991	1,619
南区	368	1,347	7,972	6,383	5,554	5,713	△ 83	△ 979	1,194	2,173
港南区	△ 65	568	5,452	5,267	4,536	4,209	56	△ 633	1,359	1,992
保土ヶ谷区	△ 938	△ 228	6,816	6,470	4,456	4,976	△ 54	△ 710	1,350	2,060
旭区	△ 29	994	5,967	5,965	5,009	4,017	-	△ 1,023	1,556	2,579
磯子区	92	577	5,644	5,072	3,780	3,760	△ 15	△ 485	1,282	1,767
金沢区	△ 999	△ 152	6,312	6,131	2,337	2,698	28	△ 847	1,165	2,012
港北区	2,711	1,578	18,827	16,492	5,531	6,464	176	1,133	3,536	2,403
緑区	367	474	6,202	6,429	3,778	3,153	76	△ 107	1,432	1,539
青葉区	13	△ 129	13,872	14,203	3,004	3,001	199	142	2,228	2,086
都筑区	254	△ 90	8,167	8,086	3,428	3,644	45	344	1,618	1,274
戸塚区	2,203	2,430	9,304	8,244	5,252	3,925	43	△ 227	2,232	2,459
栄区	△ 839	△ 440	3,424	3,714	1,976	2,128	2	△ 399	799	1,198
泉区	△ 688	△ 254	3,699	4,148	2,689	2,535	41	△ 434	1,061	1,495
瀬谷区	△ 898	△ 439	2,973	3,484	2,046	1,984	10	△ 459	840	1,299

図1-17 行政区別の社会増加率及び自然増加率の分布（平成30年中）

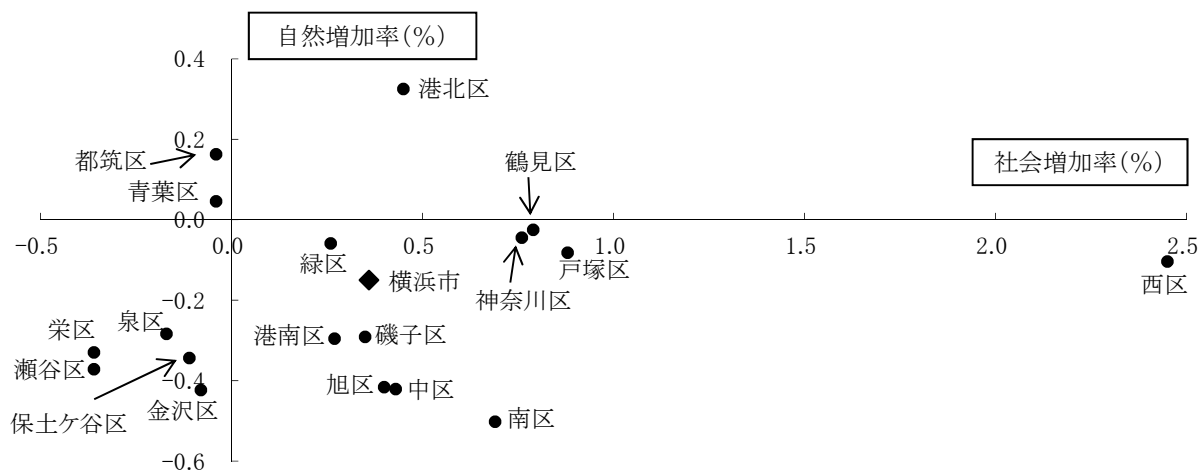


表1-10 行政区別の市外転入・転出数（平成30年中）

行政区	総数	東京圏内の地域									東京圏外	
		川崎市	相模原市	横須賀三浦地区	県央地区	湘南地区	県内その他	東京都区部	東京都区部以外	埼玉県千葉県	他の ¹⁾ 道府県	国外
横浜市	147,977	13,998	2,826	6,069	4,502	5,985	1,049	24,011	6,690	13,722	48,591	20,534
鶴見区	15,762	2,648	183	277	239	344	81	2,976	542	1,561	4,543	2,368
神奈川区	12,036	949	294	353	300	450	78	2,177	570	1,212	4,457	1,196
西区	6,662	444	89	215	179	262	49	1,339	267	658	1,969	1,191
中区	8,886	498	92	297	160	258	50	1,623	285	799	2,348	2,476
南区	7,972	490	118	473	210	310	68	1,186	347	763	2,508	1,499
港南区	5,452	358	81	513	123	333	50	730	218	558	1,935	553
保土ヶ谷区	6,816	446	133	244	251	297	51	966	293	669	2,452	1,014
旭区	5,967	475	183	207	534	382	53	742	288	626	1,938	539
磯子区	5,644	348	83	405	116	260	40	698	192	499	1,706	1,297
金沢区	6,312	251	117	1,140	118	206	38	668	211	538	2,217	808
港北区	18,827	2,204	277	324	296	443	106	4,067	873	1,765	6,475	1,997
緑区	6,202	565	333	84	276	227	74	797	543	520	1,945	838
青葉区	13,872	2,052	276	113	296	234	52	2,580	817	989	4,442	2,021
都筑区	8,167	958	149	102	146	170	44	1,083	350	713	3,402	1,050
戸塚区	9,304	734	129	581	251	842	96	1,309	435	927	3,154	846
栄区	3,424	212	76	526	131	348	58	357	144	241	1,082	249
泉区	3,699	175	91	150	336	422	32	414	173	391	1,169	346
瀬谷区	2,973	191	122	65	540	197	29	299	142	293	849	246
横浜市	134,397	13,207	3,204	5,111	5,472	7,306	884	27,379	7,816	13,322	38,007	12,689
鶴見区	13,040	2,357	176	250	239	458	62	2,751	582	1,450	3,652	1,063
神奈川区	9,861	960	183	289	266	404	51	2,359	511	1,079	2,928	831
西区	4,522	335	62	153	120	167	22	1,174	229	427	1,300	533
中区	6,886	533	107	257	168	269	46	1,642	276	702	1,734	1,152
南区	6,383	531	120	278	207	335	46	1,335	302	696	1,788	745
港南区	5,267	364	90	354	150	383	49	1,036	265	519	1,618	439
保土ヶ谷区	6,470	478	136	202	287	391	44	1,308	306	706	1,979	633
旭区	5,965	425	206	209	665	397	52	991	335	630	1,614	441
磯子区	5,072	330	145	323	135	328	57	830	214	538	1,706	466
金沢区	6,131	356	91	913	157	267	47	1,049	257	575	1,954	465
港北区	16,492	2,008	290	316	291	485	71	4,274	949	1,635	4,582	1,591
緑区	6,429	513	453	105	364	296	42	1,031	778	595	1,640	612
青葉区	14,203	1,953	419	159	437	385	50	3,291	1,364	1,149	3,630	1,366
都筑区	8,086	872	212	137	204	257	53	1,394	553	784	2,792	828
戸塚区	8,244	556	139	429	274	1,001	71	1,392	343	862	2,390	787
栄区	3,714	239	98	536	153	554	54	535	154	277	916	198
泉区	4,148	208	111	135	541	613	43	629	170	377	990	331
瀬谷区	3,484	189	166	66	814	316	24	358	228	321	794	208

注1) 「他の道府県」には地域不詳を含む。

5 外国人人口の動き

・外国人人口が多い中区

平成30年12月31日現在の外国人人口は97,540人で、総人口の2.6%を占め、前年に比べ6,088人(6.7%)の増加となっています。

行政区別にみると、中区が16,812人で最も多く、鶴見区が12,902人と続いています。

国籍別にみると、中国が39,399人と最も多く、韓国・朝鮮(13,549人)、フィリピン(8,118人)の3か国で全体の6割以上を占めています。また増加率は、ベトナムが22.4%、インドが20.6%と高くなっています。

[図1-18、表1-11、表1-12]

図1-18 国籍別外国人人口の割合

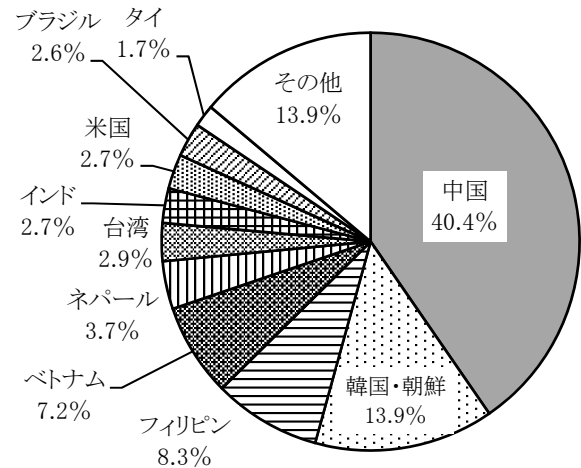


表1-11 行政区別外国人人口 (平成28年～30年)

行政区	外国人人口			増加数		増加率 (%)		平成30年	
	平成28年	平成29年	平成30年	平成29年中	平成30年中	平成29年中	平成30年中	区別の割合 (%)	区別総人口に占める割合 (%) ¹⁾
横浜市	86,596	91,452	97,540	4,856	6,088	5.6	6.7	100.0	2.6
鶴見区	11,246	12,180	12,902	934	722	8.3	5.9	13.2	4.4
神奈川区	6,025	6,586	6,993	561	407	9.3	6.2	7.2	2.9
西区	3,942	4,207	4,896	265	689	6.7	16.4	5.0	4.8
中区	15,978	16,440	16,812	462	372	2.9	2.3	17.2	11.3
南区	9,102	9,680	10,352	578	672	6.4	6.9	10.6	5.3
港南区	2,228	2,340	2,576	112	236	5.0	10.1	2.6	1.2
保土ヶ谷区	4,856	5,081	5,346	225	265	4.6	5.2	5.5	2.6
旭区	2,483	2,671	2,923	188	252	7.6	9.4	3.0	1.2
磯子区	3,984	4,289	4,740	305	451	7.7	10.5	4.9	2.8
金沢区	2,469	2,629	2,815	160	186	6.5	7.1	2.9	1.4
港北区	5,785	6,008	6,527	223	519	3.9	8.6	6.7	1.9
緑区	3,188	3,364	3,822	176	458	5.5	13.6	3.9	2.1
青葉区	3,660	3,921	4,225	261	304	7.1	7.8	4.3	1.4
都筑区	2,962	3,157	3,327	195	170	6.6	5.4	3.4	1.6
戸塚区	3,597	3,752	4,026	155	274	4.3	7.3	4.1	1.4
栄区	949	961	1,002	12	41	1.3	4.3	1.0	0.8
泉区	2,535	2,518	2,488	△ 17	△ 30	△ 0.7	△ 1.2	2.6	1.6
瀬谷区	1,607	1,668	1,768	61	100	3.8	6.0	1.8	1.4

注1) 平成31年1月1日現在の推計人口に占める割合

表1-12 国籍別外国人人口 (平成28年～30年)

各年12月31日現在

国籍	外国人人口			増加数		増加率 (%)		平成30年	
	平成28年	平成29年	平成30年	平成29年中	平成30年中	平成29年中	平成30年中	国籍別の割合 (%)	総人口に占める割合 (%) ¹⁾
総数	86,596	91,452	97,540	4,856	6,088	5.6	6.7	100.0	2.6
中国	35,590	37,536	39,399	1,946	1,863	5.5	5.0	40.4	1.1
韓国・朝鮮	13,491	13,512	13,549	21	37	0.2	0.3	13.9	0.4
フィリピン	7,189	7,546	8,118	357	572	5.0	7.6	8.3	0.2
ベトナム	4,853	5,718	6,996	865	1,278	17.8	22.4	7.2	0.2
ネパール	2,756	3,185	3,626	429	441	15.6	13.8	3.7	0.1
台湾	2,540	2,677	2,861	137	184	5.4	6.9	2.9	0.1
インド	2,018	2,175	2,624	157	449	7.8	20.6	2.7	0.1
米国	2,277	2,385	2,604	108	219	4.7	9.2	2.7	0.1
ブラジル	2,463	2,531	2,579	68	48	2.8	1.9	2.6	0.1
タイ	1,559	1,622	1,661	63	39	4.0	2.4	1.7	0.0
その他	11,860	12,565	13,523	705	958	5.9	7.6	13.9	0.4

注1) 平成31年1月1日現在の推計人口に占める割合

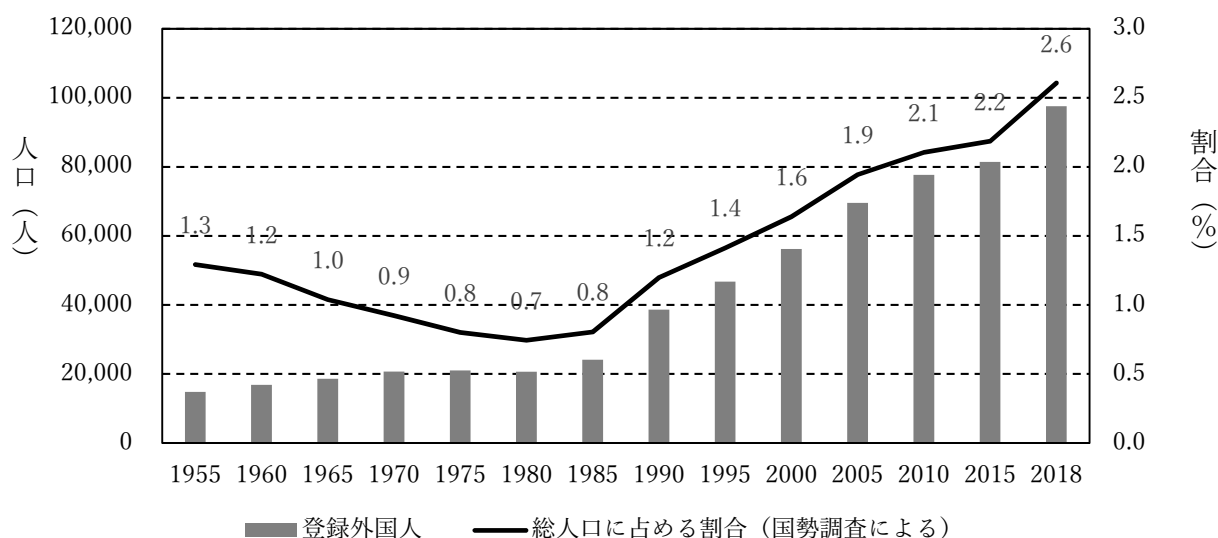
外国人人口の動き（追加分）

1 本市における外国人人口の動向

(1) 概況

本市における外国人人口の動向をみると、1980年代までは微増傾向は見られるものの、ほぼ1～2万人台で安定的に推移していました。しかし、90年代になると外国人人口は急増し、2000年には5万人を上回り、2018年には10万人近くまで増加しています。近年になると増加幅は大きくなり、2015年以降は年間5千人規模で増加しています。総人口に占める割合は、1990年に1.2%であったのが2018年は2.6%と、2倍以上になっています。

図1 外国人人口の推移（1955年～2018年）



(2) 国籍別にみた外国人人口の推移

国籍別に推移をみると、戦後しばらくは韓国・朝鮮が外国人人口の大半を占めており、他の国籍の人口は中国、米国、英国が比較的多い状況でした。1990年頃から中国、フィリピン、南米のブラジルやペルーの人口が増加し始め、特に中国は2000年代になると韓国・朝鮮を上回り、現在は4万人弱と国籍別で最も多くなっています。また、ここ10年間では、ベトナムとネパールの増加が著しくなっています。

表1 国籍別外国人人口の推移（1955年～2018年）

（単位：人）

年	外国人総数	中国	韓国・朝鮮	フィリピン	ベトナム	ネパール	台湾	インド	タイ	米国	ブラジル	ペルー	英国
1955 (昭和30)年	14,777	4,489	8,382	73	1	49	2	704	1	...	236
1960 (昭和35)年	16,815	4,698	9,697	64	47	5	1,202	5	...	341
1965 (昭和40)年	18,581	5,245	10,309	72	55	...	1,637	318
1970 (昭和45)年	20,648	5,525	11,368	91	6	62	21	1,818	45	...	372
1975 (昭和50)年	20,979	4,920	12,222	134	64	36	1,517	74	...	365
1980 (昭和55)年	20,619	4,430	12,689	159	50	88	47	1,197	58	7	379
1985 (昭和60)年	24,079	5,371	13,456	482	112	142	91	1,534	89	17	548
1990 (平成2)年	38,603	9,649	15,704	2,067	366	162	291	2,177	2,671	1,151	829
1995 (平成7)年	46,723	12,700	15,289	3,365	627	292	595	2,344	3,849	1,376	978
2000 (平成12)年	56,167	17,219	15,558	4,955	1,026	443	992	2,489	3,758	1,512	1,038
2005 (平成17)年	69,563	24,101	15,851	6,882	1,350	164	...	973	1,357	2,776	3,942	1,783	1,188
2010 (平成22)年	77,643	33,537	15,394	6,560	1,873	490	...	1,399	1,466	2,440	3,156	1,531	894
2015 (平成27)年	81,424	33,621	13,671	6,884	3,714	2,082	2,404	1,960	1,504	2,236	2,291	1,233	766
2016 (平成28)年	86,596	35,590	13,491	7,189	4,853	2,756	2,540	2,018	1,559	2,277	2,463	1,257	778
2017 (平成29)年	91,452	37,536	13,512	7,546	5,718	3,185	2,677	2,175	1,622	2,385	2,531	1,239	786
2018 (平成30)年	97,540	39,399	13,549	8,118	6,996	3,626	2,861	2,624	1,661	2,604	2,579	1,209	804

注) 1955年～75年、2005年～2018年は年末、1980年～2000年は年度末現在

2 平成 30 年中の外国人の人口動態

(1) 社会動態と自然動態

平成 30 年中の外国人人口の動態をみると、市外からの転入が 22,146 人、転出が 13,938 人、その他異動（帰化、職権消除など）は△2,358 人で、社会動態は 5,850 人の増加となっています。また、出生が 721 人、死亡が 195 人で、自然動態は 526 人の増加となっています。その結果、社会増加と自然増加を合わせた外国人の人口増加数は 6,376 人で、総人口の増加数（7,860 人）の約 8 割を占めています。

表 2 平成 30 年中の人口動態（日本人・外国人）

（単位：人）

年中	人口増加数	人口増加率	社会動態				自然動態		
			社会増減	転入	転出	その他	自然増減	出生	死亡
平成30年	7,860	0.21	13,456	147,977	134,397	△ 124	△ 5,596	27,891	33,487
日本人	1,484	0.04	7,606	125,831	120,459	2,234	△ 6,122	27,170	33,292
外国人	6,376	6.97	5,850	22,146	13,938	△ 2,358	526	721	195

*外国人の人口増加数は、12月31日現在の外国人人口（住民基本台帳人口）と比較した増加数（6,088人）とは一致しません。

*日本人及び外国人の人口増加率は、12月31日現在の住民基本台帳人口をもとに計算しています。

(2) 人口移動

平成 30 年中の市外移動の状況をみると、外国人の転入は 22,146 人で、うち国内が 9,621 人、国外が 12,525 人となっています。一方、転出は 13,938 人で、うち国内が 9,331 人、国外が 4,607 人となっています。転入から転出を引いた転入超過数は、国内が 290 人、国外が 7,918 人で、外国人全体（地域不詳を含む）で 8,208 人の転入超過となっています。

国内移動について地域別に移動率をみると、外国人は東京都区部が転入、転出とも最も高く、日本人よりも移動率が高くなっています。そのほか、埼玉県・千葉県、北関東で日本人より移動率が高くなっていますが、遠方の地域では日本人の移動率より低い傾向となっています。

表 3 平成 30 年中の地域別市外移動（日本人・外国人）

（単位：人）

	転 入		移動率 (%)		転 出		移動率 (%)		転入超過	
	移動者数	移動者数	日本人	外国人	移動者数	移動者数	日本人	外国人	日本人	外国人
	日本人	外国人	日本人	外国人	日本人	外国人	日本人	外国人	日本人	外国人
市外移動総数	125,831	22,146			120,459	13,938			5,372	8,208
国内移動	117,822	9,621	100.0	100.0	112,377	9,331	100.0	100.0	5,445	290
北海道・東北	8,325	219	7.1	2.3	6,237	256	5.6	2.7	2,088	△ 37
北関東	4,187	681	3.6	7.1	3,617	441	3.2	4.7	570	240
埼玉・千葉県	12,138	1,584	10.3	16.5	12,007	1,315	10.7	14.1	131	269
東京都区部	21,210	2,801	18.0	29.1	24,707	2,672	22.0	28.6	△ 3,497	129
東京都下	6,177	513	5.2	5.3	7,247	569	6.4	6.1	△ 1,070	△ 56
川崎市	12,938	1,060	11.0	11.0	11,994	1,213	10.7	13.0	944	△ 153
神奈川県下	19,465	966	16.5	10.0	20,714	1,263	18.4	13.5	△ 1,249	△ 297
甲信越・東海	13,418	799	11.4	8.3	10,141	814	9.0	8.7	3,277	△ 15
近畿	8,754	564	7.4	5.9	7,257	469	6.5	5.0	1,497	95
中国・四国	3,932	136	3.3	1.4	2,904	160	2.6	1.7	1,028	△ 24
九州・沖縄	6,779	282	5.8	2.9	5,552	159	4.9	1.7	1,227	123
国外移動	8,009	12,525			8,082	4,607			△ 73	7,918
(参考) 市内移動	65,424	5,440								

*「神奈川県下」は横浜市及び川崎市を除く

*「国内移動」には地域不詳を含む

6 大都市の人口動態

・横浜市の人口増加率は第8位

21大都市（政令指定都市及び東京都区部）の平成30年中の人口動態をみると、人口増加率は東京都区部が0.95%と最も高く、次いで川崎市（0.82%）、さいたま市（0.80%）となっており、横浜市（0.21%）は第8位となっています。また、新潟市、静岡市、浜松市、京都市、堺市、神戸市、北九州市及び熊本市の8市で人口が減少しています。

横浜市について、社会増加率と自然増加率をみると、社会増加率が0.36%、自然増加率がマイナス0.15%で、それぞれ第9位、第10位となっています。

大都市について、社会増加数と自然増加数をみると、ともにプラスとなったのが、川崎市、福岡市の2市で、ともにマイナスとなったのは新潟市、静岡市、堺市、北九州市及び熊本市の5市です。他の14都市は社会増加数がプラス、自然増加数がマイナスとなっています。

[表1-13、表1-14]

表1-13 大都市の人口動態（平成30年中）

都市名	平成30年 1月1日現在 人口	人口 増加数	平成30年中の人口動態								平成31年 1月1日現在 人口
			社会動態				自然動態				
			社会 増加数	市外移動		その他 の増減	自然 増加数	出生	死亡		
	転入	転出									
札幌市	1,963,626	3,109	9,074	67,571	58,255	△ 242	△ 5,965	13,403	19,368	1,966,735	
仙台市	1,087,091	2,040	2,546	67,986	64,921	△ 519	△ 506	8,495	9,001	1,089,131	
さいたま市	1,287,563	10,272	10,663	64,306	53,643	-	△ 391	10,379	10,770	1,297,835	
千葉市	975,535	2,217	4,477	43,638	38,639	△ 522	△ 2,260	6,580	8,840	977,752	
東京都区部	9,479,098	90,023	90,626	352,037	291,554	30,143	△ 603	80,444	81,047	9,569,121	
川崎市	1,505,357	12,399	9,872	90,280	78,813	△ 1,595	2,527	13,816	11,289	1,517,756	
横浜市	3,733,084	7,860	13,456	147,977	134,397	△ 124	△ 5,596	27,891	33,487	3,740,944	
相模原市	722,688	175	1,431	29,589	28,158	-	△ 1,256	5,092	6,348	722,863	
新潟市	803,802	△ 3,802	△ 403	30,020	30,425	2	△ 3,399	5,686	9,085	800,000	
静岡市	698,535	△ 3,892	△ 397	19,158	19,332	△ 223	△ 3,495	4,658	8,153	694,643	
浜松市	795,928	△ 2,233	155	23,663	23,508	-	△ 2,388	6,244	8,632	793,695	
名古屋市	2,316,047	5,680	8,889	106,862	95,756	△ 2,217	△ 3,209	19,606	22,815	2,321,727	
京都市	1,471,722	△ 3,197	1,505	54,247	51,751	△ 991	△ 4,702	10,223	14,925	1,468,525	
大阪市	2,714,818	12,437	20,920	202,175	178,040	△ 3,215	△ 8,483	21,829	30,312	2,727,255	
堺市	833,544	△ 2,849	△ 701	25,596	25,890	△ 407	△ 2,148	6,346	8,494	830,695	
神戸市	1,531,691	△ 5,052	22	51,348	49,923	△ 1,403	△ 5,074	10,711	15,785	1,526,639	
岡山市	721,608	37	814	26,997	25,278	△ 905	△ 777	6,139	6,916	721,645	
広島市	1,198,732	811	1,337	42,461	40,775	△ 349	△ 526	10,140	10,666	1,199,543	
北九州市	949,911	△ 5,139	△ 1,035	43,963	44,663	△ 335	△ 4,104	7,281	11,385	944,772	
福岡市	1,570,485	11,883	9,966	83,510	71,660	△ 1,884	1,917	14,264	12,347	1,582,368	
熊本市	740,282	△ 214	△ 82	40,574	41,091	435	△ 132	6,805	6,937	740,068	

注1) 横浜市以外の都市の数値については、原則、各市の公表数値による。

注2) 社会動態については、各市で取扱いが異なる場合がある。

表1-14 大都市の人口増加率と順位（平成30年中）

	人口増加率	人口増加率順位	社会増加率	社会増加率順位	自然増加率	自然増加率順位
札幌市	0.16	10	0.46	6	△ 0.30	15
仙台市	0.19	9	0.23	10	△ 0.05	7
さいたま市	0.80	3	0.83	2	△ 0.03	5
千葉市	0.23	7	0.46	7	△ 0.23	12
東京都区部	0.95	1	0.96	1	△ 0.01	3
川崎市	0.82	2	0.66	4	△ 0.17	1
横浜市	0.21	8	0.36	9	△ 0.15	10
相模原市	0.02	12	0.20	11	△ 0.17	11
新潟市	△ 0.47	19	△ 0.05	18	△ 0.42	19
静岡市	△ 0.56	21	△ 0.06	19	△ 0.50	21
浜松市	△ 0.28	16	0.02	15	△ 0.30	14
名古屋市	0.25	6	0.38	8	△ 0.14	9
京都市	△ 0.22	15	0.10	14	△ 0.32	17
大阪市	0.46	5	0.77	3	△ 0.31	16
堺市	△ 0.34	18	△ 0.08	20	△ 0.26	13
神戸市	△ 0.33	17	0.00	16	△ 0.33	18
岡山市	0.01	13	0.11	12	△ 0.11	8
広島市	0.07	11	0.11	13	△ 0.04	6
北九州市	△ 0.54	20	△ 0.11	21	△ 0.43	20
福岡市	0.76	4	0.63	5	0.12	2
熊本市	△ 0.03	14	△ 0.01	17	△ 0.02	4